

MAX

LABEL PRINTER

LP-700SA シリーズ

操作マニュアル



- ご使用前に必ず取扱説明書兼保証書とこの操作マニュアルをお読みください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載する事は禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

目次

目次.....	2
はじめに	4
安全にお使いいただくために	6

1. ラベルプリンタでできること 14

1.1 本体で発行する	14
1.1.1 通常ラベル発行	14
1.1.2 セット発行	16
1.2 本体でレイアウトを新規作成・編集する	17
1.3 パソコンから発行	23

2. メニュー 24

2.1 メニュー画面	24
2.2 設定	25
2.2.1 基本でできること	26
2.2.2 位置設定でできること	28
2.2.3 時計設定でできること	30
2.2.4 PB 接続設定でできること (LP-700SA・LP-700SA2 のみ)	31
2.2.5 期限設定でできること	34
2.2.6 印字内容設定でできること	35
2.2.7 システム設定でできること	37
2.2.8 LAN 通信設定でできること	40
2.2.9 無線 LAN 設定でできること	44
2.2.10 オンラインサービスでできること	49
2.2.11 店舗情報でできること	51
2.3 メンテナンスでできること	52
2.3.1 情報表示	52
2.3.2 USB メモリからバージョンアップ	54
2.3.3 オンラインバージョンアップ	55
2.3.4 コピー機能	55
2.3.5 テンプレート管理	56
2.3.6 チェック機能	56
2.3.7 タッチパネル調整／設定	57
2.3.8 画面調整設定	57
2.3.9 登録	57
2.4 レイアウトでできること	58

2.5 データ転送でできること	59
2.5.1 書出	59
2.5.2 取込	60
2.5.3 データ通信.....	60
2.6 発行記録.....	63
2.7 時計メモ印刷でできること	63
3. お手入れ方法.....	64
3.1 お手入れについて.....	64
4. こんなとき.....	65
エラー表示と対処方法	65
故障かなと思う前に	70
よくあるお問い合わせ	71
本機で使えるラベル紙について.....	72
ネットワークプリンタとしてパソコンにインストールする	73

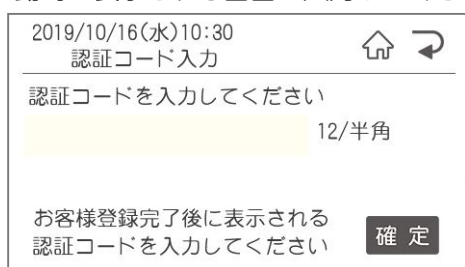
はじめに

この度はラベルプリンタLP-700SAシリーズをご購入いただき誠にありがとうございます。
本機は、専用Windowsソフト(楽らくラベルStandard)をお使いいただくことで、どなたにも簡単な操作でご希望のラベルレイアウトが編集できるだけでなく、本機単体でもラベルレイアウトを設定することができます。また本機単体での簡単な操作でスピーディーにラベル発行することができます。良きパートナーとして末永くご愛用いただくために、この取扱説明書に従ってお取扱いいただきますようお願い申し上げます。

■ お客様登録のお願い(別紙「お客様登録のお願い」参照)

本製品をご使用前に必ずお客様登録を行ってください。

登録後に開設されるマイページにて認証コードが発行されますので、その認証コードを本体起動時に表示される画面で入力してください。



ユーザー登録を行うことで、

- 保証期間を購入後半年から3年へ延長
- PCアプリ「楽らくラベルStandard」の最新版をダウンロード
- 代替機の無償貸出(購入後3年)
- ラベルサポート(詳しくはHP参照)を受けることができます。

■ 登録の手順(新規登録の場合)

①手順に沿ってお客様登録を行います。

別紙「お客様登録のお願い」または本体ユーザー登録画面で「URL表示へ」を選択して、QRコードを表示させ、そのQRコードをスマホ等で読み取ってログインページを表示させます。

※QRコードから登録を行うと登録作業で品番・製造番号を入力する必要がなくなり便利です。
ログインページでは「新規購入の登録」を押します。手順に沿って、「メールアドレスの登録」から行ってください。
最後に登録完了のメールが届きます。

②本体の「認証コード入力」でコードを入力する。
登録完了メール内、またはマイページの「登録商品の参照」で認証コードを確認することができます。

※認証コードは機械毎に異なります。
複数機械をご利用の場合には機械毎に登録をお願いします。



■マニュアルの使い方

本機を使用するために3種類のマニュアルがあります。

まずは①取扱説明書からご覧ください。

下記で内容をご確認の上、必要なマニュアルをご使用ください。

①取扱説明書(別紙)

本製品をご使用上の注意、ソフトウェア・プリンタドライバのインストール、ラベルセット方法、エラー表示と対処方法など本製品全般を説明します。

②LP-700SAシリーズ操作マニュアル(本書)

プリンタ本体の詳しい操作手順を説明しています。

③楽らくラベル操作マニュアル(電子マニュアル)

パソコン用ソフトウェア『楽らくラベル』の操作を説明しています。

Cドライブ - MAX - 「楽らくラベル〇〇」内の操作マニュアルをご覧ください。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

VCCI-B

●本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなどお気づきのことがございましたらご連絡ください。



●万一、本機や本機で作成したラベルを使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では、一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

この操作マニュアルおよび商品は、商品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。

その表示と意味は次のようになっています。

■表示について

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことや物的損害の発生が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

お願い

機械が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。




メモ

操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。


ページ

説明のページが異なる場合に参照するところを書いてあります。















■絵表示について

	「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。
	「気をつけるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。
	「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。

⚠ 警告

	本機は絶対に <u>分解または改造しない</u> でください。火災、感電、故障の原因となります。
	<u>本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まない</u> でください。本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
	<u>傷がついたり、いたんだりした電源コード、ケーブルは使わない</u> でください。火災・感電・故障の原因となります。
	<u>電源はAC100V専用コンセントを使用してください。</u> 100V以外の電源を使用すると本機が故障したり火災、感電の原因になります。
	電源は直接コンセントからとり <u>タコ足配線はしない</u> でください。火災の原因になります。
	<u>電源コードの上に重いものを絶対にのせない</u> でください。電源コードに傷がついて火災や感電の原因となります。
	<u>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない</u> でください。感電の恐れがあります
	<u>水、薬品などが機械にかからないようにしてください。</u> 万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
	<u>故障のまま機械を使わない</u> でください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
	<u>本体は必ず水平に設置してください。</u> ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。
	同梱されている電源コードは、本機専用です。 <u>本機以外に使用しない</u> でください。および他商品の電源コードを本機に使用しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
	<u>カッター部には、絶対に手や物を差し入れない</u> でください。機械の故障の原因になるばかりではなく身体上の危険を生じることがあります。

⚠ 注意

	<u>大きな容量を必要とする機器</u> （冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントは共用しないでください。電圧が下がり機械が誤動作する可能性があります。
	<u>紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。</u> 火災や故障の原因になります。
	<u>連休等で長期間で使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</u>
	<u>USBメモリの装着脱は、必ず電源OFFの状態で行なうか、シフト + 削除 / クリアを押して、USBマークが消えている状態でUSBメモリを取り外してください。</u> 電源ONのまま、またはUSBマークが表示している状態でUSBメモリを装着脱すると保存したデータが消失したり故障する場合があります。
	<u>電源プラグは定期的に清掃してください。</u> 長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、 <u>電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。</u> コードが破損して火災や感電の原因になります。
	<u>設置場所を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。</u> 電源プラグをつないだまま移動させるとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。
	<u>パソコンや、本体内部、USBメモリに保存した内容は、永久的な保存はできません。</u> 故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。予めご了承ください。
	<u>印字ユニットには絶対にさわらないでください。</u> 発行直後の印字ユニットは高温になっており、やけどをするおそれがあります。また、手の汚れが印字ユニットの故障の原因になることがあります。
	<u>本機内部にラベル、異物等がはさまるなどで、印字やラベルカットが正常に動作しない場合は、必ず電源を切ってから取り除いてください。</u> 機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。
	<u>ドアカバーの開閉時には手等をはさまないように注意してください。</u>
	<u>本機を移動させる時は、必ずドアカバーを閉め、本体底部を持って運んでください。</u> 落下等でけが、故障の原因になります。
	<u>電源コードは束ねたまま使用しないでください。</u> 発熱により火災や故障の原因になります。
	<u>ラベル排出口にはカッター刃があります。</u> けがの原因になるのでさわらないでください。

無線機器使用上の注意

■ 無線LANについてのお願い

他機器への影響

本機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故が発生させるおそれがありますので、次の場所では本機および無線通信機器の電源を切ってください。

- ・ 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- ・ 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

本機は、無線LAN技術を使用した通信時のセキュリティとして、無線LAN標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。無線LAN通信を行う際はご注意ください。

無線LAN技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

予期できない問題が生じた場合、本製品に接続しているタブレット・スマートフォンや、その他の外部機器の内部に保存されているデータが破損したり、消失したりする可能性があります。

万一に備え、必ず事前にバックアップをしておいてください。またデータの破損または消失、および接続機器の故障については、いかなる場合においても当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

周波数について

本機は 2.4GHz帯および5GHz帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機で使用する周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、マックスのお客様相談ダイヤルまでお問い合わせください。マックスのお客様相談ダイヤルについては、本取扱説明書巻末をご覧ください。

この無線機器は2.4GHz帯および5GHz帯を使用します。変調方式として OFDM,DSSS変調方式を採用し、与干渉距離は40mです。

機器認定について





本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。

従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。但し、本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

インターネット接続について

本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。

⚠ 警告

	本機を航空機内で使わない。 電波に影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となるおそれがあります。
	本機を医療機器の近くで使わない。 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。
	本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す。 電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
	本機は国内専用です。海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

■Bluetooth機能の利用についてのお願い(LP-700SA・LP-700SA2のみ)

Bluetooth無線技術について

Bluetooth無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10m程度までの距離で通信を行うことができます。

赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

Bluetooth標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格です。

Bluetooth機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

本機は下記のBluetoothバージョンとプロファイルに対応しています。

対応プロファイル : GATT

対応バージョン : Bluetooth標準規格Ver. 4.2準拠

通信有効範囲

見通し距離で約10m以内で使用してください。以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- Bluetooth接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線LANが構築されている場所
- 電子レンジを使用中の周辺
- その他電磁波が発生している場所

他機器からの影響

Bluetooth機器と無線LAN (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯 (2.4 GHz) を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本機とBluetooth機器を接続するときは、無線LAN機器から10m以上離れたところで行う。
- 10m以内で使用する場合は、無線LAN機器の電源を切る。

他機器への影響

Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させるおそれがありますので、次の場所では本機およびBluetooth機器の電源を切ってください。

- 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所。
- 自動ドアや火災報知機の近く



Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、マックス株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

注意

- Bluetooth機能を使うには、相手側Bluetooth機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- 本機は、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth無線通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しなくても、当社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 予期できない問題が生じた場合、本製品に接続しているスマートフォンや、その他の外部機器の内部に保存されているデータが破損したり、消失したりする可能性があります。万一に備え、必ず事前にバックアップをしておいてください。またデータの破損または消失、および接続機器の故障については、いかなる場合においても当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数について

本機は2.4GHz帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、マックスのお客さま相談ダイヤルまでお問い合わせください。マックスのお客さま相談ダイヤルについては、本取扱説明書巻末をご覧ください。

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

2.4 F H 4

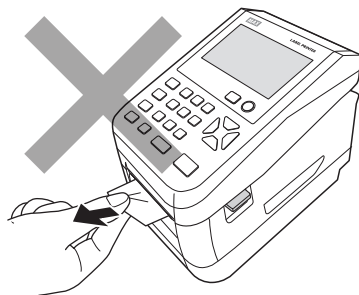
本機は、工事設計承認を取得した無線設備が内蔵されています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。但し、本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

使用上の注意

機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

- 電源が入っているときに、ラベルをセットした状態でラベルを強く引っ張らないでください。

- コネクタには直接手で触れないでください。
静電気により故障の原因となる場合があります。



- 本機の汚れを落とす際には乾いた柔らかい布で拭いてください。
有機溶媒(アルコール、ベンジン、シンナーなど)や濡れ雑巾などは使用しないでください。
機械が変形したり、変色することがあります。

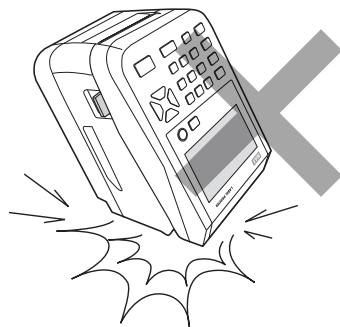


- トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用及び保管はしないでください。

- ・直接日光の当たる場所やヒーター等熱源に近い場所
- ・ホコリや湿度の多い場所
- ・振動や衝撃の加わる場所
- ・温度が4℃以下、36℃以上になる場所で使用しないでください。
- ・温度が0℃以下、40℃以上になる場所に保管しないでください。

- 落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。

- LCDディスプレイ部を強く押さないでください。
割れることがあります。



- 消耗品(ラベル)は専用のものをお使いください。

その他のものをご使用になると正常に動作しなかったり、発行できない場合があります。

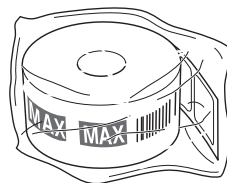
- ラベルにホコリやゴミ等が付着すると、本機での発行時にスジ状に印字が抜けることがあります。

ラベルの保管は梱包の中に入っていたビニール袋に入れ、ホコリやゴミが付着しないようご注意ください。

なお、ホコリやゴミが付着した場合は、布などで取り除いてからご使用ください。

- 本機で使えるラベルは専用感熱紙のみです。

ラベルの保管は、直射日光や高温多湿の場所を避け、冷暗所に保管してください。



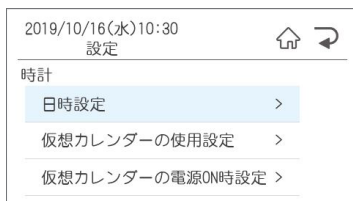
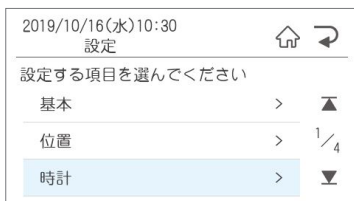
1日の作業前に必ずご確認ください

■日時入りラベルを発行するときのご注意

画面左上に現在日時を表示しますので必ずずれていないかご確認ください。

●日時がずれていた場合の変更方法

- ①メニュー画面の「設定」から「時計」を選択します。
- ②「時計」メニューで日時設定を選択します。
- ③日時設定画面で数字キーで修正をし、確定キーを押してください。



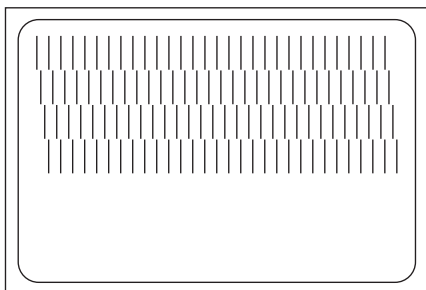
■バーコード入りラベルを発行するときのご注意

本機でJANコードなどのバーコードを含むラベルを発行する場合は、印字抜けにご注意ください。

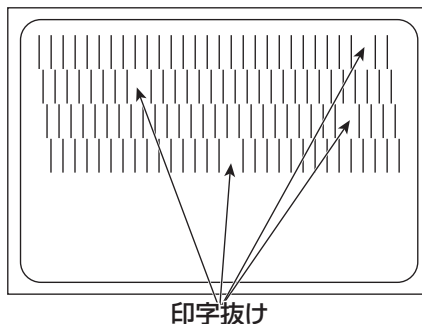
メニュー画面のメンテナンス - チェック機能 - テスト発行を選択し、テスト発行画面で「する」で確定をします。印字抜けチェックパターンが発行されます。

●落線が抜けているよう見える場合は、印字抜けが発生しています。

□印字抜けがない場合




□印字抜けがある場合



印字抜け

お願い

- 印字抜けが確認された場合は、ラベル発行を止め、印字ユニットやローラーをクリーニングしてください。改善されない場合はご購入販売店様までご連絡下さい。

 クリーニング方法は、「3.お手入れ方法」を参照してください。

⚠ 注意

印字ユニットの交換はご購入販売店様までご依頼ください。バーコードは、細バーサイズ3ドット以上でご使用になることをお奨めします。バーコード印字不良などによる損害、ならびに逸失利益については、弊社では責任を負いかねます。予めご了承ください。

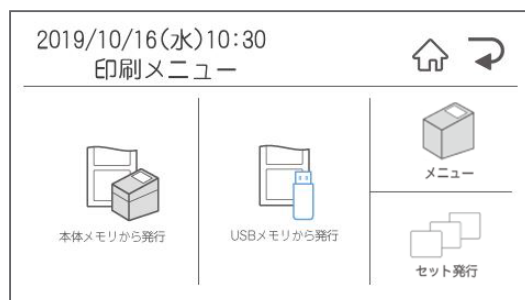
1. ラベルプリンタでできること

1.1 本体で発行する

1.1.1 通常ラベル発行

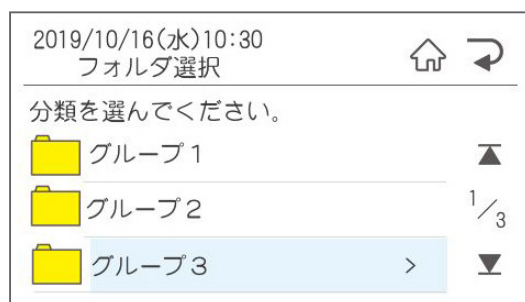
メモリを選択

印刷メニュー画面で発行したいラベルの保存されているメモリを選択します。



フォルダを選択

フォルダ選択画面で発行したいラベルが保存されているフォルダを選択します。



ファイルを選択

ファイル選択画面で発行したいラベルを選択し、発行/確定を押します。



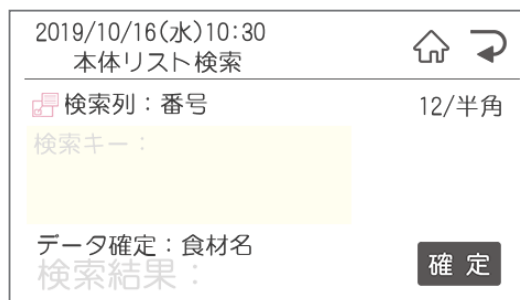
選択の方法は2種類あります。

- 1、上下矢印ボタンで移動
- 2、直接ファイル番号を入力

※印刷するファイルのプレビューを見たい場合は、ファイル名右端のプレビューボタンを押して、確認することができます。

本体リスト接続されたファイルを選択した場合

本体リスト接続されたファイルでは、ファイルを選択して発行ボタンを押すとリスト番号を聞いてくるのでリスト番号を入力して発行/確定を押します。



※本体リスト接続されたファイルは発行時変更ができません。

発行時変更

- 文字枠: 半角数字、一覧リスト、リスト接続
- バーコード: JAN13・JAN8・CODE128
※CODE128は楽らくラベルProにてレイアウト作成時のみ、また半角数字のみ
- 時計: 加算・日付語句の切替が可能
- 連番
- 枚数

※栄養成分枠がある場合は、時計のみ変更が可能です。

【変更の仕方】

変更可能な項目のみ表示されています。
初期値は発行にカーソルがあるので、変更したい項目に移動して、発行/確定を押してください。

2019/10/16(水)10:30
発行時変更

000002 焼き菓子詰合せ

A 個数
5

⌚ 賞味期限
2019年11月01日

1/1

JAN 1234567890123

発行

●文字枠

2019/10/16(水)10:30
発行時変更

123 文字枠1

123

12/半角

確定

発行時変更では価格などの数字の変更が可能です。

●バーコード枠

2019/10/16(水)10:30
発行時変更

バーコード

4902870709112

12/半角

確定

本機で修正できるバーコードの種類は
JAN8・13、CODE128(制限あり)です。

●時計枠

2019/10/16(水)10:30
発行時変更

⌚ 賞味期限

0 年 0 月 14 日

を今の時間に加算

確定

加算日を3日とすると発行当日から3日後の日付でラベルを発行します。

※当日に今日を含む設定をすることもできます。詳しくは「設定 - 期限設定 - 加算基準日設定」をご覧ください。

日付語句等モードを変更する場合は、「空白/変換」ボタンを押すと、モードの切替ができます。

2019/10/16(水)10:30
発行時変更

⌚ 賞味期限

枠外上部に記載

枠外下部に記載

フタに記載

1/2

確定

●連番入力

2019/10/16(水)10:30
発行時変更

連番カウント

1

連番開始番号

0005

▲

▼

発行

連番の開始番号を編集することができます。

●枚数入力

2019/10/16(水)10:30
枚数入力

発行枚数 :

1 枚

カット枚数 :

終カット

1 枚

発行

5枚短冊のものを20セットで計100枚発行したい場合は、枚数を100枚、カット枚数を5枚に設定してください。

1.1.2 セット発行

毎日決まったラベルを決まった枚数発行する場合に、毎回レイアウトと枚数をレイアウトの種類の数だけ選ぶ必要なく、1回の発行でまとめて行うことができる機能です。

2019/10/16(水)10:30
枚数入力

何枚印刷しますか

1 枚

発行

登録されているセットを選択して、発行ボタンを押します。

セットの作成は『2.2.6 印字内容設定でできること』のセット発行をご覧ください。

1.2 本体でレイアウトを新規作成・編集する

ここでは、新規作成で説明します。すでにあるファイルを編集(上書き保存)する場合は、②で編集を選択してください。

編集できるオブジェクトは文字枠、バーコード枠、時計枠です。

ただし、栄養成分枠を使用している場合は、文字枠の編集・修正はできません。

1 メニュー画面からレイアウトを選択します。



2 新規作成を選択します。



3 テンプレートから、ファイルからのいずれかを選択します。



レイアウトの作成は2種類の方法があります。

①テンプレートから：

本体に搭載されているテンプレート

②ファイルから：

楽らくラベル(Pro・Standard)から転送したファイル

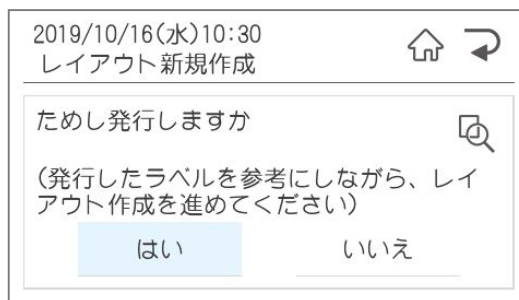
※「ファイルから」を選んだ場合は、メモリ選択画面に移動します。

4 ベースとなるテンプレート(ファイル)を選択します。



どんなテンプレートが確認する場合は、プレビューボタンを押して確認するか、確定を押すとためし発行の画面が表示されるので、ためし発行をして確認することができます。

●ためし発行



5 編集をする。

編集後にためし印刷をするか確認画面が表示されるので、ためし印刷をして、間違っていないか確認をするようにお願いします。

編集する

編集可能なオブジェクトが表示されます。
編集したいオブジェクトを選択します。

●文字枠を編集する

選択した文字枠が表示されます。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成

商品名

1

AB/半角

確定

●入力モードの切替

メニュー / 切替ボタンを押すと、入力モードが切り替わります。

●ひらがな入力

「が」を入力する場合は、「か」を6回、またはシフト+「か」を押します。

か→き→く→け→こ→
が→ぎ→ぐ→げ→ご→カ→ケ

●か/半角入力

濁点「」半濁点「゜」の入力は「O」を4回あるいは5回押します。

ワ→ヲ→ン→ゝ→°→ー→、→・

●漢字変換

ひらがな入力後、空白/変換ボタンを押すと、候補が表示されます。

※よく使う文字は、最初のひらがなで変換を押すと出てくるものもあります。

ち→直射日光 や こ→小麦粉など

●単漢字変換

シフト+空白/変換で単漢字変換します。

その他の入力をする場合はシフト+メニュー / 切替で入力モード一覧が表示されます。

2019/10/16(水)10:30
入力メニュー

新規作成

一般

一覧リスト

本体リスト 接続

モード	代表的なもの
一般(記号)	& % ()
一覧リスト	原材料・原産地・添加物リスト
本体リスト	楽らくラベルStandardから転送したリスト
編集用	改行 下線 上付き・下付き
単位	℃ cm mg
省略	(株) TEL No
年号	平成 昭和 大正
数字	① ② ③
ロシア	ロシア文字
ギリシャ	ギリシャ文字
JIS入力	JISコードから入力

●一覧リストを使用する

1 シフト+メニュー / 切替で下記の入力メニューを表示させ、「一覧リスト」を選択します。

2019/10/16(水)10:30
入力メニュー

新規作成

一般

一覧リスト

本体リスト 接続

2 3種類の一覧リストの中から、使用するリストを選択します。

2019/10/16(水)10:30
入力メニュー

一覧リスト

原材料一覧.csv	>
原産地一覧.csv	>
添加物一覧.csv	>

メモ

- この一覧情報リストは自由にカスタマイズすることが可能です。
楽らくラベル(Standard・Pro)インストール後、CドライブーMAXー楽らくラベル〇〇またはPro〇〇ーSampleFileーLists内にデータが保存されています。自由に編集をして、一覧情報をプリンタに転送することが可能です。ただしファイル名は変更しないでください。

3 入力したい項目を選択して確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
一覧リスト

原材料一覧.csv

004 甘食	▲
005 アモンドショコラ	2/99
006 あんドーナツ	▼

確定

4 「発行時変更」に設定するか、選択します。

はい → 産地など発行時に変更がある場合に選択します。

いいえ → 原材料一覧は表示されている商品に使われているであろう材料が入力されています。そのデータを活用してレイアウト作成すると便利です。
ただし、発行時変更は数字・リスト接続・一覧リストしかできませんので、材料が変わった場合は編集で修正をしてください。

●本体リスト接続を使用する

発行時にリストの番号を入力すると、その番号のデータの入ったラベルを発行することができます。
楽々ラベルの本体リストから転送した商品マスタなどのリストを使用します。

- 1 シフト+メニュー / 切替で下記の入カメニューを表示させ、「本体リスト接続」を選択します。

2019/10/16(水)10:30
入力メニュー

新規作成

一般 > ▲

一覧リスト > 1/4

本体リスト 接続 > ▼

- 2 何列目を印刷するかを左右矢印で選択し、**確定**を押します。
※矢印を押すとリストの1行目を表示します。

※リストを作成する際には、1行目にタイトルが来るように作成してください。リスト接続を止める場合は、「リスト接続解除」を選択します。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト 新規作成

何列目を印刷しますか

◀ 3 列目 ▶

食材

確定

●バーコード枠を編集する

2019/10/16(水)10:30
レイアウト 新規作成

バーコード 12/半角

4902870709112

確定

※本体リスト接続されたファイルは発行時変更ができません。

●日付枠の設定

1 日付枠の種類を加算・直接入力・当日・日付語句から選択し、詳細設定をします。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成

期限

加算 \blacktriangle

直接入力 $1/2$

当日 \blacktriangledown **確定**

2 詳細設定をする

・加算を使用する場合

※「本体リスト接続」をすることができます。
詳しくはP20を参照してください。

加算する日付を設定します。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成

期限

0年 0月 14日

0時 0分

を今の時間に加算 **確定**

加算する期限の範囲を設定することができます。
設定する場合は「はい」を選択します。
設定すると、発行時変更するときは、決められた範囲内で加算日だけ変更するように制限されます。
※ただし、設定できるのは加算「日」のみです。それ以外の加算年・月・時・分の制限はできません。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト編集

期限範囲設定しますか？
設定すると、発行時変更するときは
決められた範囲内で加算日だけ変更する
ように制限できます

はい ☒ いいえ ☐

2019/10/16(水)10:30
レイアウト編集

期限

範囲: 0 ~ 20 日

(入力範囲 0~999) **確定**

設定後、確認画面が表示されます。
加算日が設定範囲ないであることを確認して、
確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成

期限

14日 (範囲: 0 ~ 20 日)

0年 0月 14日 0時 0分

を今の時間に加算 **確定**

・直接入力を使用する場合

印刷したい日時を入力します。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成

期限

2019年 10月 16日

10時 30分

直接入力 **確定**

・当日を使用する場合

詳細設定はありません。そのまま次ページ
「③表示形式を選択する」から設定してください。

・日付語句を使用する場合

印刷したい内容を選択します。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成

賞味期限

枠外上部に記載 \blacktriangle

枠外下部に記載 $1/2$

フタに記載 \blacktriangledown **確定**

3 表示形式を選択します。

年月日・時分の順に選択します。

※日付語句を選んだ場合でも、発行時変更で他の設定に変更した時のために、設定が必要です。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成

🏠 ↶

🕒 期限

15. 04. 01

▲

15. 4. 1

10/25

▼

確定

15. 04. 01

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成

🏠 ↶

🕒 期限

表示しない

▲

午前8時05分

1/3

▼

確定

午前08時05分

4 「発行時変更」に設定するか選択します。

「はい」の場合は発行時に変更ができるようになります。

5 保存します。

ファイル番号、ファイル名、カナ検索ワードを入力して、保存確認画面で、よろしければ「はい」を押して保存します。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成

🏠 ↶

ファイル番号

12/半角

123

📄

確定

2019/10/16(水)10:30
レイアウト新規作成

🏠 ↶

ファイル名

12/半角

あんドーナツ

📄

確定

1.3 パソコンから発行

1 楽しくラベルを起動します。

「楽しくラベル」を起動するには、
「スタート」－「すべてのプログラム」－「MAX」
－「楽しくラベル〇〇」で楽しくラベル〇〇をク
リックします。
「パソコンから直接発行する」を選択します。



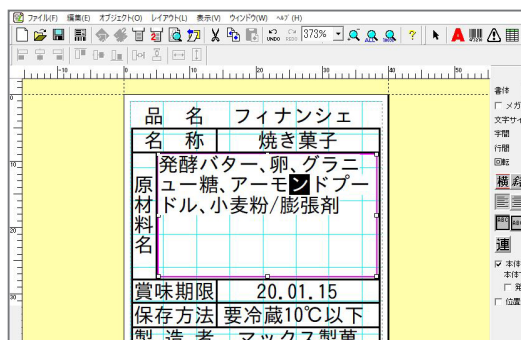
2 レイアウトを開きます。



例文呼出：サンプルデータから編集します。
開く：すでに作成したデータを開いて編
集します。

3 レイアウトを編集します。

編集したい文字枠や日付枠の上でダブルクリック
し、編集します。



4 修正が完了したら、発行を押します。 印刷設定が表示されるので、枚数を設定 してOKを押します。



2. メニュー

2.1 メニュー画面

メニュー画面へは、ホーム画面でメニュー / 切替を押すと移動します。



番号	項目	内容
1	設定	各種設定を行います
2	メンテナンス	バージョンアップやメンテナンス
3	レイアウト	レイアウトの作成や編集
4	データ転送	PCやUSBメモリとのデータ転送
5	発行記録	発行用記録取り出しや発行
6	用紙認識	用紙認識を行います
7	お知らせ	お知らせを表示します
8	時計メモ用ラベル発行	時計メモ用ラベル発行を行います

2.2 設定

ここでは、プリンタ本体に関する機能や初期値を設定できます。

【設定できる項目の一覧】

番号	分類	機能
1	基本	印刷に関する設定を主に行います
2	位置	送り位置などの位置に関する設定を主に行います
3	時計	時計合わせなどに関する設定を主に行います
4	PB接続設定 ※1	PBボタン(無線発行ボタン)の設定を行います
5	期間設定	夏時間など期間に関する設定を行います
6	印字内容	印字欠けチェックなど印字内容に関する設定を行います
7	システム	発行時変更などシステム全般に関する設定を行います
8	LAN通信	LAN接続に関する設定を行います
9	無線LAN	無線LANに関する設定を行います
10	オンラインサービス	オンラインサービスの設定を行います
11	店舗情報	店舗情報を設定します

※1：PB接続設定はLP-700SA・LP-700SA2のみ

設定画面への入り方

1 「ファイル選択」画面でメニュー / 切替キーを押します。

2019/10/16(水)10:30
ファイル選択





000001	要冷蔵		
000002	焼き菓子詰合せ		1 / 8
000101	マドレーヌ		



番号検索 用紙サイズ 4046 / 4046

3 設定項目が表示されるので、設定したい項目を選択します。

2019/10/16(水)10:30
設定



設定する項目を選んでください

基本	>	
位置	>	1 / 4
時計	>	

2 「メニュー」画面で設定を押します。

2020/10/16(金)10:30
メニュー



 発行記録	 用紙認識	 お知らせ	 時計メモ印刷
 データ転送	 レイアウト	 メンテナンス	 設定

2.2.1 基本でできること

基本では、下記基本設定に関する内容の設定を行うことができます。

番号	項目	内容	初期値	入力範囲
1	印字濃度	印字の濃度を設定	5	1～9
2	印刷の向き	印字の向きを設定	逆方向	正方向／逆方向
3	入力初期モード	入力モードの初期値の設定	全12	12/半角、ｶ/半角、AB/半角、12/全角、ひらがな、カナ/全角、AB/全角
4	計算A(パーセントの設定)	計算Aのパーセントの設定	100	1～999
5	計算A(小数点の設定)	計算Aの小数点の設定	整数	整数、小数第1位、小数第2位
			切捨て	切捨て、切上げ、四捨五入
6	計算B(パーセントの設定)	計算Bのパーセントの設定	100	1～999
7	計算B(小数点の設定)	計算Bの小数点の設定	整数	整数、小数第1位、小数第2位
			切捨て	切捨て 切上げ 四捨五入
8	発行者管理	発行者管理を設定	しない	する／しない

印字濃度

印刷したラベルの印字が薄い場合、または濃い場合に調整します。

- 左右矢印で数字を変更し、確定を押します。
数字を大きくすると濃くなります。

2019/10/16(水)10:30
設定 基本

印字濃度

◀ 5 ▶

(←薄 1 ～ 9濃→)
印字濃度を決定します

確定

- 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

印刷の向き

印刷の向きを設定します。



- 左右矢印で逆方向/正方向を選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 基本

印刷の向き

正方向 逆方向

正 逆

確定

- 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

入力初期モード

文字入力時の初期値を設定します。
入力モードはメニュー／切替ボタンで文字入力中に変更することができます。

- 1 左右矢印で初期値にしたい入力モードを選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 基本

入力初期モード

ひらがな

入力モードの初期値を設定します

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

計算A・B

計算した結果を印刷したい場合に使用します。

- 1 パーセントを設定をします。
数字を入力して確定を押します。
110%にしたい場合は『110』と入力し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 基本

計算A(パーセント設定)

パーセント: 110 % (1~999)

計算Aに使用するパーセントを設定できます

確定

- 2 続けて小数点の設定をします。
左右矢印で設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 基本

計算A(小数点設定)

小数点: 整数

小数処理: 切捨て

計算Aで表示する小数点と小数処理を設定できます

確定

- 3 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押します。

計算A・Bを使用したい場合は、楽らくラベルでレイアウト作成時に本体での表示名を「計算A(またはB)」にしてください。A・Bは全角です。



- 基準となる文字枠の数値を参照して、計算A(またはB)では設定したパーセントで計算A(またはB)を表示したい場合基準となる半角数字のみ入力された文字枠を作成し、本体での表示名を『基準数値\$(\$は全角・半角)』とします。計算A(またはB)に数字が入力されていても、自動的に基準数値を参照し、計算A(またはB)で設定したパーセントで表示されます。

発行者管理

※発行者管理機能を使用する場合は、パスワード設定をおこなう必要があります。
楽らくラベルProの発行者管理機能を使用する際に設定します。

- 1 左右矢印でする / しないを選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 基本

発行者管理

する しない

発行者の履歴を残しません

確定

※パスワード設定をしていない場合は、中止/取消を押して、先にパスワードの設定をしてください。する/しないのいずれを選んでもエラーとなり、設定できません。

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

2.2.2 位置設定でできること

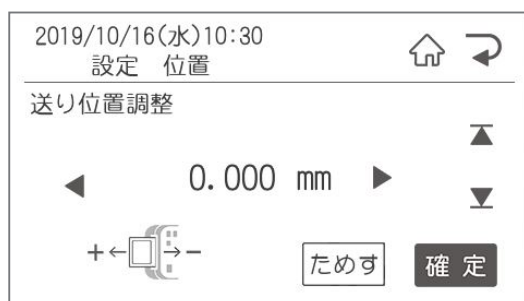
位置設定では、下記の印刷の位置設定に関する設定を行うことができます。

番号	項目	内容	初期値	範囲
1	送り位置調整	送り方向の印刷位置を調整	0	-3.0 ~ +3.0
2	幅方向調整	幅方向の印刷位置を調整	0	-3.0 ~ +3.0
3	1枚目の印刷位置	印刷後1枚目の停止位置の調整	0	-3.0 ~ +1.0
4	カット位置調整	印刷後のカット位置の調整	0	-3.0 ~ +3.0
5	発行形式	発行形式を選択	ティアオフ	通常/ティアオフ

送り位置調整

ラベル内の送り方向の印刷位置を設定します。

- 1 印字が上や下に寄っている時に左右矢印で設定します。



- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

幅方向調整

幅方向の印刷位置を設定します。

- 1 印字が左右どちらかに寄っている時に左右矢印で設定します。



- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

1枚目の印刷位置

1枚目の印刷位置を設定します。

- 1 左右矢印で設定します。



- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

カット位置調整

印刷終了後のカット位置を設定します。

- 1 左右矢印で設定し、確定を押します。



- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

発行形式

発行の形式を選択します。

- 1 本体のカッタを使用する時は左右矢印でティアオフを選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 位置

発行形式

通常 ティアオフ

ティアオフ位置まで
発行します

ためす 確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

2.2.3 時計設定でできること

時計設定では、下記の時計の設定に関する設定を行うことができます。

番号	項目	内容	初期値	範囲
1	日時設定	時計合わせ	-(現在時刻)	年月日時分
2	仮想カレンダーの使用	仮想カレンダーを使用するか設定	しない	する/しない
3	仮想カレンダーの電源ON時設定	電源ON時に仮想カレンダーを使用するか設定	しない	する/しない
4	ユーザー語句登録	ユーザー語句を登録します	-	-

日時設定

現在時刻がずれている時に修正します。

- 1 左右矢印でカーソルを移動し、数字キーで入力、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 時計

日時設定

20 19 年 10 月 16 日

10 時 30 分

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

仮想カレンダーの使用設定

明日の分の賞味期限の入ったラベルを今日印刷しておきたい場合など、一時的に本体の時計設定を変更したい場合に設定します。

- 1 左右矢印でする/しないを選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 時計

仮想カレンダーの使用設定

する しない

発行時に仮想カレンダーを設定しません

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

仮想カレンダーの電源ON時設定

「しない」を選択すると電源OFFするたびに仮想カレンダーはOFFになりますが、「する」に設定した場合は常に仮想カレンダーにすることができます。

- 1 左右矢印でする/しないを選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 時計

仮想カレンダーの電源ON時設定

する しない

電源ON時に仮想カレンダーの使用設定を「しない」に戻します

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

ユーザー語句登録

日付の代わりに設定した語句を発行するための語句登録をします。

- 1 登録したい語句を入力し、確定を押します。登録できる語句は8文字以内です。

2019/10/16(水)10:30
設定 時計

ユーザー語句登録

ひらがな

8文字以内で語句を登録できます

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

2.2.4 PB接続設定でできること(LP-700SA・LP-700SA2のみ)

番号	項目	内容	初期値	範囲
1	接続設定 ON/OFF	PB接続をするか設定	OFF	ON/OFF
2	新規登録	発行ボタンの新規登録	—	—
3	設定変更	発行ボタンの設定変更	—	—
4	設定確認	設定内容の確認	—	—
5	設定削除	設定内容の削除	—	—

PB設定 ON/OFF

発行ボタンを使用する時に設定します。

1 左右矢印で選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 PB接続設定

接続設定 ON/OFF

ON OFF

接続設定を有効にします

確定

2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

発行ボタンの新規登録の場合

発行ボタンの設定を行います。
下記の場合が表示されたら登録したいボタンを押します。

■発行ボタンを初めて設定する

1 最初にPB接続設定 ON/OFFをONにします。

2019/10/16(水)10:30
設定 PB接続設定

接続設定 ON/OFF

ON OFF

接続設定を有効にします

確定

2 新規登録で登録したいボタンを押します。

2019/10/16(水)10:30
PB 新規登録

新規登録したいボタンを押してください

キャンセル

3 登録するメモリを選択します。

2019/10/16(水)10:30
メモリ選択

使用するメモリを選んでください。

本体メモリ

USBメモリ

4 登録するファイルの保存されている分類フォルダを選択します。

2019/10/16(水)10:30
分類選択

分類を選んでください。

生菓子

松楠商店

XYスーパー

1/3

5 PB登録ファイル選択で、ボタンに登録するファイルを選択します。

2019/10/16(水)10:30
PB 登録ファイル選択

000001	要冷蔵		
000002	焼き菓子詰合せ		1/8
000101	マドレーヌ		

番号検索 用紙サイズ 4046 / 4046

6 枚数設定を選択します。
ここで登録した枚数が発行ボタンを押すごとに発行されます。登録したい枚数を数字キーで入力し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
PB 発行枚数設定

1 回に発行する枚数を
入力してください

枚

確定

7 設定した内容が表示されるので、登録する場合は「はい」を押します。

2019/10/16(水)10:30

PB登録内容

メモリ：本体メモリ	
分類名：要冷蔵	1/2
ファイル番号：0000002	

設定変更

設定を変更する際に使用します。
変更したいPBボタンを押し、新しく設定するファイルを選択します。
手動の場合はボタンを選択後に登録するファイルを選択します。

2019/10/16(水)10:30
PB 設定変更

ボタンを選択してください

PB 1	要冷蔵	000002	
PB2	—		1/3
PB3	—		

設定確認

設定を確認したいPBボタンを押すと、現在の設定が表示されます。



2019/10/16(水)10:30
PB 設定確認

ボタンを選択してください

PB 1	要冷蔵	000002	
PB2	—		1/3
PB3	—		

設定削除

現在設定されているPBボタンの設定を削除します。
削除したいボタンを押してください。

2019/10/16(水)10:30
PB 設定削除  

設定削除したいボタンを押してください
手動でボタンを選ぶ場合、[手動]を選択してください

キャンセル

手動

手動の場合は一覧から選択してください。

2019/10/16(水)10:30
PB 設定削除   

ボタンを選択してください

PB 1	要冷蔵	000002	
PB2	—		1/3
PB3	—		

登録内容を確認し、削除する場合は確定を、キャンセルする場合は中止/取消を押します。

2019/10/16(水)10:30  

PB登録内容

メモリ：本体メモリ	
分類名：要冷蔵	1/2
ファイル番号：0000002	

2.2.5 期限設定でできること

期間設定では、下記の期限に関する設定を行うことができます。

番号	項目	内容	初期値	範囲
1	加算基準日設定	加算する時の基準日の設定	翌日	当日/翌日
2	日付確認画面表示	印刷時に日付の確認画面を出す設定	しない	しない/プレビュー/日付のみ

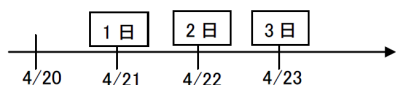
加算基準日設定

賞味期限などを計算(加算)する時の基準日を設定します。

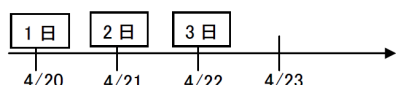
※「当日」設定の場合、加算日数「0」と「1」が当日になります。

【例】4/20に加算日数「3」日で発行した場合

・「翌日」設定の場合 →「4/23」で印字します。



・「当日」設定の場合 →「4/22」で印字します。



- 1 左右矢印でカーソルを移動し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30

設定 期限設定

加算基準日設定

当日 翌日

日付計算の基準日を設定します

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。テンキーで入力、確定を押します。

日付確認画面表示

印刷する日付を確認する画面の設定をします。

- 1 左右矢印で選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30

設定 期限設定

日付確認画面表示

しない

発行時に印字する日付の確認画面を表示しません

確定

2.2.6 印字内容設定でできること

印字内容設定では、下記の印刷内容に関する設定を行うことができます。

番号	項目	内容	初期値	範囲
1	印字欠けチェック	印刷時に文字が欠けていないかチェックする	通知する 発行しない	通知する 発行しない 通知する 発行できる 通知しない 発行する
2	JANガードバー表示	JANコードのガードバーを印刷するか	自動	する/しない/自動
3	自動長体化	枠内に文字が入るように長体化する設定	しない	する/しない
4	セット発行	複数のレイアウトをまとめて発行	—	—

印字欠けチェック

印刷時に文字が欠けて印刷されないかチェックをします。
欠けていた場合の印刷するかの設定を行います。

1 左右矢印で設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 印字内容

印字欠けチェック

通知する、発行しない ▶ ▼

印字欠けチェックを行い、NGの場合は発行しません 確定

2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

JANガードバー表示

JANコードのガードバーを印刷するかを設定します。

1 左右矢印で設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 印字内容

JANガードバー表示

◀ 自動 ▼

ラベルレイアウトデータの設定を優先します 確定

2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

自動長体化

設定を「する」にした場合、入力した文字が枠内に入りきらなかった文字枠の文字を自動的に長体化します。

※ただし、以下の場合は長体化をしません。

- ・すでに長体化されている枠
- ・文字サイズが8.5Pt未満
- ・文字枠が縦書き

1 左右矢印で設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 印字内容

自動長体化

する しない ▼

文字が印字枠をはみ出す場合、自動で長体文字にします 確定

2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

セット発行

登録された複数のレイアウトをまとめて発行します。
6セットまで登録できます。

※セット内は全て同じサイズのファイルしか登録
できません。

●新規登録

1 セット名を登録します。

2019/10/16(水)10:30
セット名登録

ひらがな

確定

2 使用するメモリを選択します。

3 分類を選択します。分類フォルダをまた いで登録はできません。

4 登録するファイルを選択します。

5 選択したファイルの発行枚数を設定します。

6 続けて次のファイルを設定します。 上下矢印で空いているところに登録します。 1つのセットに登録できるのは10ファイル です。

2019/10/16(水)10:30
セット 編集

000001 要冷蔵

用紙サイズ
4046

確定

●セット編集

すでに登録されているセットを編集します。

1 セット一覧から編集するセット名を選択し ます。

2019/10/16(水)10:30
セット 編集

セット一覧

1	平日通常	▲
2	--	1/2
3	--	▼

2 次に登録するファイルを設定します。 上下矢印で空いているところを選択し、登 録します。 すでに登録されているファイルを編集する 場合は、編集するファイルを選択し、登録 レイアウト変更画面で編集します。

2019/10/16(水)10:30
登録レイアウト 編集

登録レイアウト 変更

変更

確認

削除

3 選択したファイルの発行枚数を設定します。

4 続けて次のファイルを設定します。

●セット削除

セット一覧から削除したいセット名を選択し
ます。

2.2.7 システム設定でできること

システム設定では、下記のシステム設定に関する設定を行うことができます。

番号	項目	内容	初期値	範囲
1	発行時変更の許可	発行時変更を許可するかの設定	する	する／しない
2	発行時変更保存	発行時変更を保存するかの設定	しない	する／しない
3	発行時の枚数選択	発行時に枚数を表示するかの設定	する	する／しない
4	発行後戻り設定	発行後の戻り先の設定	分類選択	分類選択/ファイル選択/ 先頭項目
5	キー音	キー音のありなしの設定	あり	あり／なし
6	オートパワー OFF	オートパワー OFFをするかの設定	する	する／しない
7	ヘッド自己診断	ヘッド自己診断をするかの設定	前	前後／後／前／なし
8	パスワード設定	パスワードの設定	----	数字4桁
9	端末番号	端末番号を設定	000	数字3桁
10	確定後データ表示	リンク枠検索・確定時にリスト内で 表示する列を設定	表示しない	表示しない/表示する

発行時変更の許可

許可「する」にするとレイアウトに発行時変更を設定されている項目の入力画面が表示されます。しないにすると表示だけでなく、編集も禁止にできます。

1 左右矢印で設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 システム

発行時変更の許可

する

しない

発行時に数字や日時等を変更できます

確定

2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

発行時変更保存

保存「する」にするとラベルデータについて発行時変更で修正した内容を保存します。

1 左右矢印で設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 システム

発行時変更保存

する

しない

発行時に変更した内容を上書きします

確定

2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

発行時の枚数選択

ラベル発行時の枚数指定画面の表示について設定できます。

枚数選択を「しない」にした場合、ラベルデータ毎に設定されている発行枚数でラベル発行されます。

1 左右矢印で設定し、確定を押します。

2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

発行後の戻り先の設定

1 発行後の戻り先の画面を設定します。

2 次の設定が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

キー音

本機のキー音のあり、なしを設定します。

1 左右矢印で設定し、確定を押します。

2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

オートパワー OFF

オートパワー OFF機能を有効にすると消費電力を抑えることができます。

1 左右矢印で設定し、確定を押します。

しない／3分／5分／10分／15分
から選択します。

2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

ヘッド自己診断

サーマルヘッドの素子破壊が起きていないか、本機が検知する設定を行います。
サーマルヘッドの素子破壊があるとスジ状に印字抜けが発生し、バーコードを含むラベルの場合は誤読の原因となりますので、通常は初期設定のままご使用ください。

1 左右矢印で設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 システム
ヘッド自己診断
← しない →
ヘッド自己診断を行いません
確定

2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

パスワード設定

管理者以外が環境設定を変更できないようにパスワード保護を設定することができます。

1 数字キーでパスワードを設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 システム
パスワード設定
- - - -
設定や編集に関わるメニューにパスワードをかけます
確定

2 パスワードは0000から9999まで数字4桁で設定できます。 解除する場合は入っている数字を削除で消してください。

3 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

端末番号

ネットワークにてレイアウトデータを更新する場合の端末番号の設定を行います。

1 数字キーで設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 システム
端末番号
0
本体毎に端末番号を設定します
確定

2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

確定後データ表示

リスト接続したレイアウト使用して発行をする際に、リンク枠検索・確定時に選択が正しいか確認するためにリスト内で表示する列を設定します。

1 表示するかしないかを左右矢印で、数字キーで表示する列を設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 システム
確定後データ表示
0
表示しない
リンク枠検索・確定時にリスト内で表示する列を設定します
確定

2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

2.2.8 LAN通信設定でできること

LAN通信設定では、下記のLANの通信設定に関する設定を行うことができます。

番号	項目	内容	初期値	範囲
1	有線LAN+BLE/ 無線LAN切替※1	有線/無線の切替設定	無線LAN	無線LAN/有線LAN+BLE※1
2	IPアドレス設定方法	IPアドレスの設定方法を選択	静的IP	静的IP/DHCP
3	DHCP取得結果	DHCPでの取得結果を表示	—	
4	IPアドレス設定	IPアドレスの設定	192.168.011.001 255.255.255.000 192.168.011.001	Pアドレス：12桁 サブネットマスク設定：12桁 デフォルトゲートウェイ設定：12桁
5	DNSサーバ使用	DNSサーバ使用時の設定	する	する/しない
6	DNSアドレス設定	DNSサーバ使用時の アドレス設定	000.000.000.000	DNS①アドレス設定：12桁 DNS②アドレス設定：12桁
7	NTPサーバ名	NTPサーバのサーバ名の 設定	(空白)	半角64文字
8	NTPアドレス設定	NTPサーバのアドレス設定	(000.000.000.000)	12桁
9	NTP取得時刻・ データ送信時刻	NTPから取得、サーバへ データを送信する時刻を設定	(一時一分)	0時00分～23時59分
10	ホスト名	PCやサーバーで認識 させるための名前を設定	LP700S	64文字
11	PINGテスト	指定したPCとの通信が 正しく行われているか確認	0.0.0.0	12桁
12	MACアドレス表示	MACアドレスを表示	—	12桁

※1:BLE機能はLP-700SA・LP-700SA2のみ

有線LAN+BLE/無線LAN切替※1

※1：BLE機能はLP-700SA・LP-700SA2のみ
有線LAN+BLEと無線LANの切替を行います。

1 左右矢印キーで設定し、確定を押します。

2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

IPアドレス設定方法

IPアドレスの設定方法を選択します。
静的IP：手動でIPアドレスを設定します
DHCP：自動でIPアドレスを設定します

1 数左右矢印キーで設定し、確定を押します。

2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

DHCP取得結果

DHCP設定時の取得結果を表示します。

- 1 取得結果が表示されるので、確認をして確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 有線LAN

DHCP取得結果

1	IPアドレス	▲
	192 . 168 . 11 . 1	▼

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

IPアドレス設定

IPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを必要に応じて設定します。

- 1 数字キーで設定し、確定を押す、または下矢印を押してサブネットマスク・デフォルトゲートウェイを設定し、確定を押します。設定する数字は、「プリンタドライバのインストール」で設定した数字を入力します。

2019/10/16(水)10:30
設定 LAN通信

IPアドレス設定

1	IPアドレス:	▲
2	192 . 168 . 11 . 1	▼
3		

IPアドレスを登録できます

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

DNSサーバ使用

DNSサーバを使用する時に設定します。

- 1 左右矢印で選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 有線LAN

DNSサーバ使用

する しない

DNSサーバを使用しません

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

DNSアドレス設定

DNSサーバを使用する時にDNSアドレスを設定します。

- 1 数字キーで入力し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 有線LAN

DNSアドレス設定

1	DNSアドレス設定	▲
2	0 . 0 . 0 . 0	▼

DNSサーバ①(プライマリ)のアドレスを設定できます

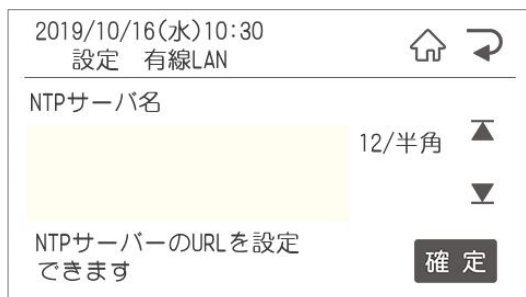
確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

NTPサーバ名

使用するNTPサーバのサーバ名を設定します。

- 1 使用するサーバのURLを入力し、確定を押します。



- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

NTPアドレス設定

使用するNTPサーバのアドレスを設定します。

- 1 使用するNTPサーバのアドレスを入力し、確定を押します。

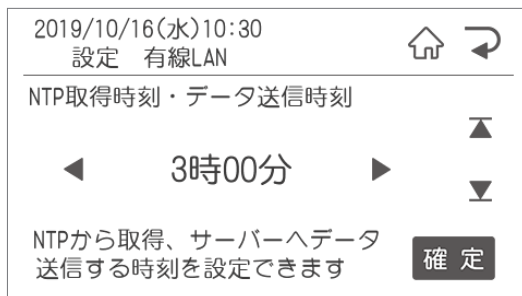


- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

NTP取得時刻・データ送信時刻

NTPから取得、サーバへデータを送信する時刻を設定します。

- 1 取得・送信する時刻を数字キーで入力し、確定を押します。

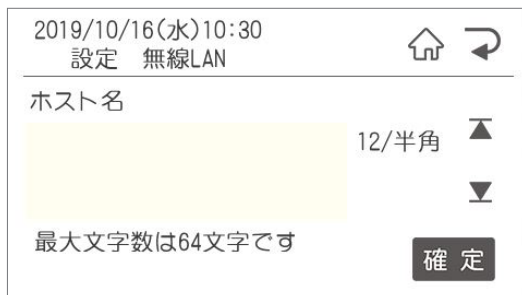


- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

ホスト名

PCやサーバーで認識させるための名前を設定します。

- 1 設定するホスト名を入力し、確定を押します。



- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

PINGテスト

指定したPCとの通信が正しく行われているか確認します。

- 1 テストするPCのIPアドレスを数字キーで入力し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 有線LAN  

PINGテスト

1 テストする宛先IPアドレス ▲



192 . 168 . 11 . 1 ▼

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

MACアドレス表示

有線LANのMACアドレスを表示します。

2019/10/16(水)10:30
設定 有線LAN  

MACアドレス

00-11-22-33-44-55 ▲

▼

確定

次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

2.2.9 無線LAN設定でできること

無線LAN設定では、下記のLAN設定の通信設定に関する設定を行うことができます。

番号	項目	内容	初期値	範囲
1	有線LAN+BLE/ 無線LAN切替※1	有線/無線の切替設定	無線LAN	無線LAN/有線LAN+BLE※1
2	簡単接続(WPS)	WPSを使って接続設定	—	—
3	ネットワーク選択	接続するネットワークを設定	—	—
4	SSID	接続するSSIDを設定	—	—
5	セキュリティ	接続するネットワークのセキュリティを設定	—	—
6	パスワード	接続するネットワークのパスワードを設定	—	—
7	IPアドレス設定方法	IPアドレスの設定方法を選択	静的IP	静的IP/DHCP
8	DHCP取得結果	DHCPでの取得結果を表示	—	—
9	IPアドレス設定	IPアドレスの設定	192.168.011.001 255.255.255.000 192.168.011.001	IPアドレス：12桁 サブネットマスク設定：12桁 デフォルトゲートウェイ設定：12桁
10	DNSサーバ使用	DNSサーバ使用時の設定	する	する/しない
11	DNSアドレス設定	DNSサーバ使用時のアドレス設定	000.000.000.000	DNS①アドレス設定/12桁 DNS②アドレス設定/12桁
12	NTPサーバ名	NTPサーバのサーバ名の設定	(空白)	半角64文字
13	NTPアドレス設定	NTPサーバのアドレス設定	(000.000.000.000)	12桁
14	NTP取得時刻	NTPサーバから時刻を取得する時刻の設定	(一時一分)	0時00分～23時59分
15	ホスト名	PCやサーバーで認識させるための名前を設定	LP700S	64文字
16	MACアドレス	MACアドレスを表示	—	—
17	規制情報	5Gz帯の使用制限情報を表示	—	—

※1:BLE機能はLP-700SA・LP-700SA2のみ

有線LAN+BLE/無線LAN切替※1

※1：BLE機能はLP-700SA・LP-700SA2のみ
有線LAN+BLEと無線LANの切替を行います。

1 左右矢印キーで設定し、確定を押します。



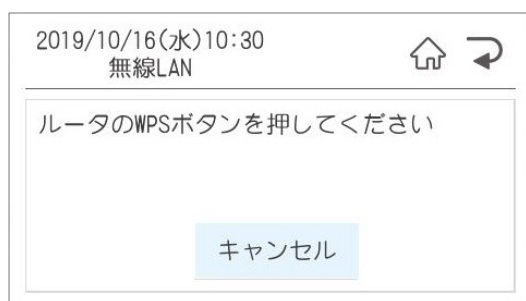
2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

簡単接続(WPS)

WPSの機能を使って、設定をする場合に使用します。

※IPアドレスを静的で設定する場合は事前にIPアドレスを設定しないと接続が完了しません。
WPS機能を使用しない場合は次のネットワーク選択に進んでください。

1 ルータのWPSボタンを押します。



「簡単接続(WPS)に成功しました。」と表示されたら設定は完了です。

2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

ネットワーク選択

接続するネットワークを選択します。

1 数左右矢印キーで設定し、確定を押します。



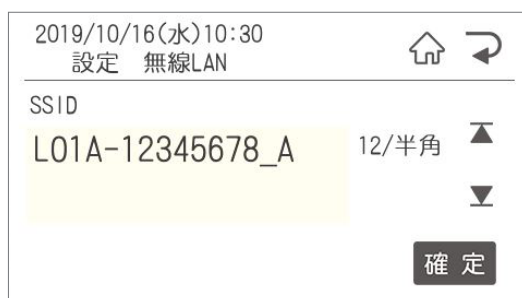
確認画面でも確定を押します。

2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

SSID

SSIDを設定します。

1 ネットワーク選択で設定したSSIDが自動的に表示されます。よろしければ確定を押します。



2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

セキュリティ

セキュリティ方式を選択します。

- 1 左右矢印でルータのセキュリティ方式を選択し、確定を押します。



- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

パスワード

パスワードを設定します。

- 1 ルータのパスワードを設定します。
※パスワードは半角数字0～9、半角アルファベットA～Fで入力します。ルータで設定されているパスワードがそれ以外の場合はパスワードを変更してください。



- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

IPアドレス設定方法

IPアドレスの設定方法を選択します。

DHCP: IPアドレスを自動で割り振る場合に使用
DHCP取得結果を確認してください。

静的IP: IPアドレスが決まっている場合に使用。
IPアドレス設定から設定してください。

- 1 左右矢印で使用する方法を選択して、確定を押します。



- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

DHCP取得結果

DHCPの取得結果を表示します。

- 1 取得結果を確認します。



- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

IPアドレス設定

IPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを必要に応じて設定します。

- 1 数字キーで設定し、確定を押す、または下矢印を押してサブネットマスク・デフォルトゲートウェイを設定し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 無線LAN

IPアドレス設定

1 IPアドレス: 192.168.11.1

2 255.255.255.0

3 192.168.11.1

IPアドレスを登録できます

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

DNSサーバ使用

DNSサーバを使用する時に設定します。

- 1 左右矢印で選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 無線LAN

DNSサーバ使用

する しない

DNSサーバを使用しません

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

DNSアドレス設定

DNSサーバを使用する時にDNSアドレスを設定します。

- 1 数字キーで入力し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 無線LAN

DNSアドレス設定

1 DNSアドレス設定 0.0.0.0

2 192.168.11.1

DNSサーバ①(プライマリ)のアドレスを設定できます

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

NTPサーバ名

使用するNTPサーバのサーバ名を設定します。

- 1 使用するサーバのURLを入力し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 無線LAN

NTPサーバ名

12/半角

NTPサーバーのURLを設定できます

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

NTPアドレス設定

使用するNTPサーバのアドレスを設定します。

- 1 使用するNTPサーバのアドレスを入力し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 無線LAN

NTPアドレス設定

1 NTPサーバアドレス

192 . 168 . 11 . 1

NTPサーバのアドレスを設定できません

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

NTP取得時刻

取得する時刻を数字キーで入力し、確定を押します。

- 1 左右矢印で使用する方法を選択して、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 無線LAN

NTP取得時刻

5時00分

NTP時刻を取得する時刻を設定できません

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

ホスト名

PCやサーバーで認識させるための名前を設定します。

- 1 設定するホスト名を入力し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
設定 無線LAN

ホスト名

12/半角

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

MACアドレス

無線LANのMACアドレスを表示します。

2019/10/16(水)10:30
設定 無線LAN

MACアドレス

00-11-22-33-44-55

確定

次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

2.2.10 オンラインサービスでできること

オンラインサービスでは、オンラインバージョンアップに関する設定を行うことができます。

番号	項目	内容	初期値	範囲
1	接続タイムアウト時間	接続のタイムアウト時間を設定	60秒	1～90秒
2	通信タイムアウト時間	通信のタイムアウト時間を設定	30秒	1～90秒
3	プロキシサーバ使用	プロキシサーバを使用するか設定	しない	する/しない
4	プロキシサーバ アドレス	プロキシサーバのアドレスを設定	000.000.000.000	12桁
5	プロキシサーバ ポート番号	プロキシサーバのポート番号を設定	8080	半角5桁
6	プロキシサーバ ユーザ名	プロキシサーバのユーザ名を設定	(空白)	半角16桁
7	プロキシサーバ パスワード	プロキシサーバのパスワードを設定	(空白)	半角16桁
8	自動バージョンアップ	自動バージョンアップの可否を設定	しない	する/しない

接続タイムアウト時間

ネットワーク接続時のタイムアウト時間を設定します。

- 1 左右矢印で選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
オンラインサービス

接続タイムアウト時間

◀ 60 秒 ▶

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

通信タイムアウト時間

ネットワーク接続時のタイムアウト時間を設定します。

- 1 左右矢印で選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
オンラインサービス

通信タイムアウト時間

◀ 30 秒 ▶

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

プロキシサーバ使用

プロキシサーバを使用する時に設定します。

- 1 左右矢印で選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
オンラインサービス

プロキシサーバ使用

する しない

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

プロキシサーバ アドレス

プロキシサーバを使用する時にサーバのアドレスを設定します。

- 1 使用するプロキシサーバのアドレスを入力し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
オンラインサービス

プロキシサーバ アドレス

1 0 . 0 . 0 . 0

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

プロキシサーバ ポート番号

プロキシサーバを使用する時にサーバのポート番号を設定します。

- 1 使用するポート番号を入力し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
オンラインサービス

プロキシサーバ ポート番号

8080 12/半角

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

プロキシサーバ ユーザ名

プロキシサーバを使用する時にサーバのユーザ名を設定します。

- 1 使用するプロキシサーバのユーザ名を入力し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
オンラインサービス

プロキシサーバ ユーザ名

12/半角

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

プロキシサーバ パスワード

プロキシサーバを使用する時にサーバのパスワードを設定します。

- 1 使用するプロキシサーバのパスワードを入力し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
オンラインサービス

プロキシサーバ パスワード

12/半角

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

自動バージョンアップ

自動バージョンアップをする場合に設定します。

- 1 左右矢印で選択し、確定を押します。

2019/10/16(水)10:30
オンラインサービス

自動バージョンアップ

する しない

確定

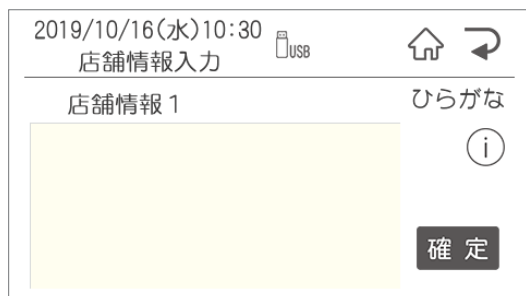
- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押します。

2.2.11 店舗情報でできること

店舗情報を設定します。

店舗情報1・2

お店の店名や住所をプリンタ本体に登録することで、住所変更や店名の変更に素早く対応できます。



店舗情報は直接プリンタ本体で入力するか、楽らくラベルLiteから転送することができます。



- 文字数の目安は下の表の通りです。
レイアウトによって、入る文字数が変わりますので、ためし印刷をしながら設定をおこなってください。

フォント	32mm幅	40mm幅	52mm幅
8.5pt 全角	9文字	12文字	15文字
8.5pt 半角	18文字	24文字	30文字
8.5pt 全角・長体	14文字	18文字	23文字
8.5pt 半角・長体	28文字	36文字	46文字

2.3 メンテナンスでできること

メンテナンス設定では、下記のメンテナンス内容に関する設定を行うことができます。

番号	項目	内容
1	情報表示	機種名や製造番号を表示
2	USBメモリからバージョンアップ	USBメモリからバージョンアップを行います
3	オンラインバージョンアップ	オンラインでバージョンアップを行います
4	コピー機作成	レイアウトや設定値をコピーします
5	テンプレート管理	テンプレートのバージョン表示とバージョンアップを行います
6	チェック機能	テスト発行を行います
7	タッチパネル調整/設定	タッチパネルの調整を行います
8	画面調整/設定	画面を調整します
9	登録	サポートサービスの利用コードを登録します

2.3.1 情報表示

情報表示では下記のことを確認できます。

番号	項目	内容
1	バージョン	バージョンを表示
2	機種名	機種名を表示
3	用紙認識情報	現在の用紙認識された情報を表示
4	製造番号	製造番号を表示
5	MACアドレス	MACアドレスを表示
6	IPアドレス	サーバのIPアドレスを表示
7	有線LAN設定一覧	有線LANの設定状況を表示
8	無線LAN設定一覧	無線LANの設定状況を表示
9	ネットワーク診断	ネットワークの診断結果を表示

バージョン表示

本体のバージョンを表示します。

2019/10/16(水)10:30
メンテナンス

バージョン

Version 1.00

確定

次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

機種名表示

ご使用の機種名と品番を表示します。

2019/10/16(水)10:30
メンテナンス

機種名表示

LP-700SA
(品番：1L90590)

確定

次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

用紙認識情報

用紙認識されているラベルのサイズと種類を表示します。

2019/10/16(水)10:30 メンテナンス	🏠 ↶
用紙認識情報	▲ ▼
用紙サイズ：幅52×長さ50	
用紙種類：上質感熱紙	
確定	

次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

製造番号表示

本体の製造番号を表示します。

2019/10/16(水)10:30 メンテナンス	🏠 ↶
製造番号	▲ ▼
1234567890	
確定	

次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

MACアドレス表示

本体のMACアドレスを表示します。

2019/10/16(水)10:30 メンテナンス	🏠 ↶
MACアドレス	▲ ▼
00-11-22-33-44-55	
確定	

次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

IPアドレス

現在設定されている本体のIPアドレスが表示されます。

2019/10/16(水)10:30 メンテナンス	🏠 ↶
IPアドレス	▲ ▼
0.0.0.0	
確定	

確定を押すと次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

有線LAN設定一覧

有線LANの設定を表示します。

2019/10/16(水)10:30 メンテナンス	LAN 🏠 ↶
有線LAN設定一覧①	▲ ▼
IPアドレス設定方法：静的	
IPアドレス：192.168.11.1	
サブネットマスク：255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ：192.168.0.1	
DNS①：0.0.0.0	
DNS②：0.0.0.0	
確定	



2019/10/16(水)10:30 メンテナンス	LAN 🏠 ↶
有線LAN設定一覧②	▲ ▼
接続タイムアウト時間：60秒	
通信タイムアウト時間：30秒	
確定	

2019/10/16(水)10:30 メンテナンス	LAN 🏠 ↶
有線LAN設定一覧③	▲ ▼
ブロードキャスト：使用しない	
ブロードキャスト：使用しない	
ブロードキャスト名：使用しない	
ブロードキャスト：使用しない	
確定	


確定を押すと次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押してください。


無線LAN設定一覧

無線LANの設定を表示します。

2019/10/16(水)10:30
メンテナンス 2.4GHz Wi-Fi  

無線LAN設定一覧①




SSID : ●●●●● 

チャネル : 11 


セキュリティ : WPA2


パスワード : 設定あり

確定

2019/10/16(水)10:30
メンテナンス   

無線LAN設定一覧②

IPアドレス設定方法 : DHCP 



IPアドレス : 192.168.1.1 


確定


確定を押すと次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

ネットワーク診断

ネットワーク診断の結果を表示します。

2019/10/16(水)10:30
診断結果 2.4GHz Wi-Fi  

①ネットワーク接続 : ○ 

②DNS : ○ 

③インターネット接続 : ○

④オンラインサービス利用 : ○



更新

詳細

確定を押すと次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

2.3.2 USBメモリからバージョンアップ

本体のバージョンアップを行います。
USBメモリを本体に挿入してから行ってください。

2019/10/16(水)10:30
バージョンアップ  

バージョンアップを実行しますか

はい

いいえ

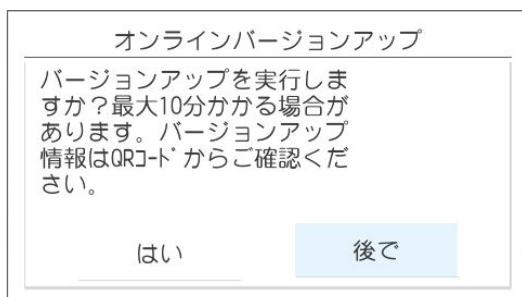
次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

2.3.3 オンラインバージョンアップ

LAN接続にて自動で本体のバージョンアップを行います。

※設定をするためには、事前に2.2.8有線LANの設定をしておく必要があります。LAN通信では有線LAN+BLE※1を選択し、IPアドレスの設定方法はDHCPのみ対応可能です。

※1：BLE機能はLP-700SA・LP-700SA2のみ

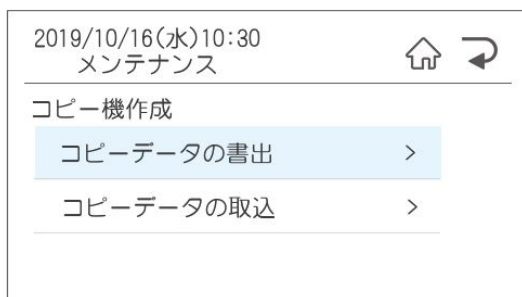


はいを選択すると、バージョンが最新になっているか確認をします。

最新のプログラムがある場合は、最新のバージョンアップファイルをダウンロードして、自動で懇親します。

2.3.4 コピー機能

本体に登録されているレイアウト・設定値全てをコピーして、中身が全く同じ機械を作りたい場合に使用します。容量によってコピーに時間がかかる場合があります、レイアウトだけ移したい場合はデータ転送でも可能です。



●コピーデータの書出

⇒本体からPCまたはUSBメモリへデータを書出す場合に選択。

選択後にPCまたはUSBメモリを選択して発行/確定ボタンを押します。

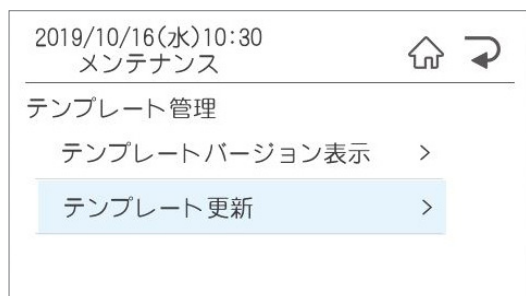
●コピーデータの取込

⇒PCから本体へデータを取り込む場合に選択。

完了後、「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

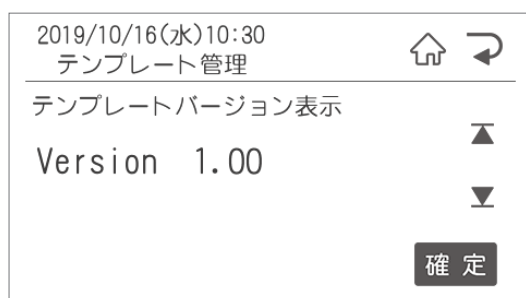
2.3.5 テンプレート管理

本体に登録されているテンプレートのバージョンの確認とバージョンアップを行います。



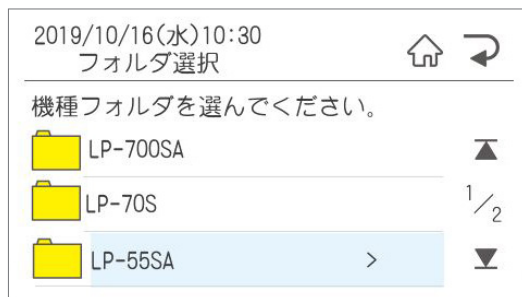
●テンプレートバージョン表示

⇒テンプレートのバージョンを確認できます。



●テンプレート更新

更新をする前に更新ファイルを弊社HPからダウンロードし、USBメモリに保存。そのUSBメモリを本体に挿入してから行ってください。フォルダ選択画面が表示されるので、フォルダを選択してください。



次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

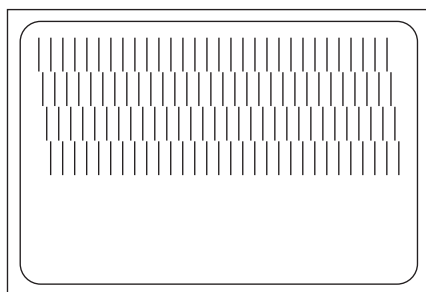
2.3.6 チェック機能

テスト発行を行います。

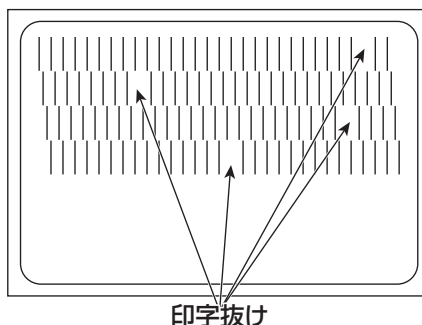
テスト発行をすると、印字抜けチェックパターンが発行されます。

●線が抜けているように見える場合は、印字抜けが発生しています。

□印字抜けがない場合



□印字抜けがある場合



2.3.7 タッチパネル調整／設定

タッチパネルの検出位置調整を行います。
画面の指示に従って、マークをタッチしてください。
タッチは左上→右上→左下→右下→中央の順に押します。

タッチパネル検出位置調整

画面左上のマークをタッチしてください

2.3.8 画面調整設定

画面の調整と設定を行います。

LCD表示濃度

LCDの表示濃度を設定します。

- 1 左右矢印で設定します。
数字を小さくすると薄くなります。

2019/10/16(水)10:30
メンテナンス

LCD表示濃度

◀ 5 ▶

(←薄1 ~ 10濃→)
LCD濃度を調整できます

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

LCD輝度／コントラスト

LCDの輝度とコントラストを設定します。

- 1 左右矢印で設定します。
輝度は数字を小さくすると暗くなります。
コントラストは数字を小さくすると弱くなります。

2019/10/16(水)10:30
メンテナンス

LCD輝度/コントラスト

輝度: ◀ 50 ▶

コントラスト: ◀ 50 ▶

(←暗1 ~ 100明→)
LCD輝度を調整できます

確定

- 2 次の項目が表示されます。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

2.3.9 登録

ラベルサポートサービスの利用時に登録します。

サービス利用コード

- 1 サービス利用コードを入力し、確定ボタンを押します。

2019/10/16(水)10:30
登録

サービス利用コード

AB/半角

サービス利用コードを入力してください

確定

- 2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

2.4 レイアウトでできること

レイアウトではレイアウトに関する下記のことが行なえます

番号	項目	内容
1	新規作成	レイアウトの新規作成
2	編集	レイアウトの編集
3	削除	レイアウトの削除
4	メッセージ	メッセージの編集

※「1.新規作成」「2.編集」の操作は「1.2 本体でレイアウト新規作成・編集する」(P17)をご覧ください。

削除

本体に保存されているレイアウトを削除します。

2019/10/16(水)10:30
レイアウト

削除

ファイル 選択削除

ファイル 全削除

フォルダ 削除

●ファイル選択削除

⇒選択後に削除するファイル選択画面に移動します。
選択し確定すると選択したファイルが削除されます。

●ファイル全削除

⇒選択すると確認画面に移動します。「はい」を選択するとファイルが削除されます。

●フォルダ全削除

⇒選択するとメモリ⇒フォルダ選択の不画面に移動します。選択し確定すると選択したフォルダが削除されます。

削除が完了して「はい」を押すと、ファイル選択画面に戻ります。「印刷メニュー」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

メッセージ

メッセージを設定しておく、ラベルの所定のスペースに下記のような「クリスマスケーキの予約を開始しました」などのメッセージを入れることができます。

品名	フィナンシェ
名称	焼き菓子
原材料名	発酵バター、卵、グラニュー糖、アーモンドプードル、小麦粉 / 膨張剤
賞味期限	19.12.08
保存方法	要冷蔵 10℃以下
製造者	マックス製菓
責任者	松楠太郎
大阪市福島区玉川 1-3-18	

12/1よりXmasケーキの予約開始しました

2019/10/16(水)10:30
メッセージ入力

メッセージ

12/1よりXmasケーキの
予約開始しました

確定

メッセージは直接プリンタ本体で入力するか、
楽しくラベルから転送することができます。



- 文字枠の本体での表示名を「メッセージ」にしておく必要があります。

2.5 データ転送でできること

データ転送ではデータのやりとりに関する設定が行なえます。

番号	項目	内容
1	書出	レイアウトをPCまたはUSBメモリへ書出します
2	取込	PCまたはUSBメモリからデータを取り込みます
3	データ通信	ファイルのアップロード、ダウンロードに関する設定をします

2.5.1 書出

レイアウト・設定値の書出しを行います。

レイアウト→PCへ

レイアウトデータをプリンタ本体からPCへ書出します。

送信準備が完了しました

受信してください

上の画面の状態で、楽らくラベルでレイアウトコピーを選択し、「本体から受信」を押すとデータがPCに転送されます。

レイアウト→USBメモリへ

レイアウトデータをプリンタ本体からUSBメモリへ書出します。

- 1 書出したいUSBメモリをプリンタ本体に挿入します。
- 2 「レイアウト→USBメモリへ」を押すと、データがUSBメモリへ書き出されます。

設定値→USBメモリへ

プリンタ本体の設定値をプリンタ本体からUSBメモリへ書出します

- 1 書出したいUSBメモリをプリンタ本体に挿入します。
- 2 「設定値→USBメモリへ」を押すと、設定値データがUSBメモリへ書き出されます。

2.5.2 取込

レイアウトや一覧データなどを取り込みます。

PCから

データをPCからプリンタ本体へ取込みます。

受信準備が完了しました

送信してください

上の画面の状態で、楽らくラベルLiteの各設定の「本体に転送」を押すとデータがPCに転送されます。

USBメモリから

楽らくラベルLiteで作成した各データをUSBメモリからプリンタ本体へ取込みます。

1 データの入ったUSBメモリをプリンタ本体に挿入します。

2 「USBメモリから」を押すと、データがUSBメモリからプリンタ本体へ取込まれます。

※USBメモリ内の全てのデータが取り込まれ、上書きされます。本体で編集したレイアウトがある時は注意してください。

2.5.3 データ通信

データのサーバとのやりとりに関する設定を行います。

※アップロード・ダウンロードをするには、事前に有線LAN設定を行っておく必要があります。

番号	項目	内容
1	自動ダウンロード設定	ダウンロードを自動で行うか設定します
2	ダウンロード	手動でダウンロードを行います
3	自動バックアップ設定	バックアップを自動で行うか設定します
4	バックアップ	手動でバックアップを行います
5	ログアップロード	手動でログのアップロードを行います

自動ダウンロード設定

ダウンロードを自動で行う場合に設定します。

1 「設定する」を選択します。

2019/10/16(水)10:30
ダウンロード



自動ダウンロード設定

設定する

設定しない

2 ダウンロード回数を選択します。

- ・1回: 今回だけ行う
- ・毎日: 毎日行う
- ・曜日: 週に1回設定した曜日に行う

2019/10/16(水)10:30
自動ダウンロード設定



ダウンロード回数

1回

毎日

曜日

3 ダウンロード時刻を設定します。

2019/10/16(水)10:30
自動ダウンロード設定

ダウンロード日時

20 19 年 10 月 16 日

10 時 30 分

直接入力 確定

4 ダウンロードのモードを選択します。

同期モード: 保存されているデータを削除し、新たにデータを保存します。
上書きモード: 保存されているデータはそのままで、追加データのみ上書きします。

2019/10/16(水)10:30
自動ダウンロード設定

モード選択

同期モード

上書きモード

5 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

ダウンロード

手動でダウンロードを行います。

1 ダウンロードモードを選択します。

- ・同期モード:
保存されているデータを削除し、新たにデータを保存します。
- ・上書きモード:
保存されているデータはそのまま、追加データのみ上書きします。
- ・バックアップ:
バックアップ用にアップロードされたデータをバックアップします。保存されているデータはそのまま、追加データのみ上書きします。

2019/10/16(水)10:30
ダウンロード

モード選択

同期モード

上書きモード

バックアップ



1/2

2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

自動バックアップ設定

バックアップを自動で行う場合に設定します。

1 「設定する」を選択します。

2019/10/16(水)10:30
バックアップ  



自動バックアップ設定

☒ 設定する

☐ 設定しない

2 バックアップ頻度を選択します。

- ・毎日: 毎日行う
- ・曜日: 週に1回設定した曜日に行う

2019/10/16(水)10:30
自動バックアップ設定  

バックアップ頻度

☒ 毎日



☐ 曜日

3 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

バックアップ

手動でバックアップを行います。

1 「はい」を選択するとバックアップが開始されます。

2019/10/16(水)10:30
バックアップ  

バックアップしますか？



☒ いいえ ☐ はい

2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

ログアップロード

手動でログのアップロードを行います。

1 「はい」を選択するとアップロードが開始されます。

2019/10/16(水)10:30
ログアップロード  

アップロードしますか？

☒ いいえ ☐ はい

2 次の項目が表示されます。「ファイル選択」画面に戻るにはホームボタンを押してください。

2.6 発行記録

発行記録をUSBメモリに保存、またはラベルに発行をします。

CSVファイルに保存

発行記録をUSBメモリへCSVファイルの形式で保存します。

- 1 保存したいUSBメモリをプリンタ本体に挿入します。
- 2 「CSVファイルに保存」を押すと、発行記録がUSBメモリに保存されます。



ラベルに発行

設定した日にちの発行記録をラベルに発行します。
最大200件まで発行します。200件以上の場合
は「CSVファイルに保存」から確認ください。

2.7 時計メモ印刷でできること

日付時刻入りラベルを発行します。

2019/10/16(水)10:30
メモ用ラベル発行

メモ用ラベルを発行しますか

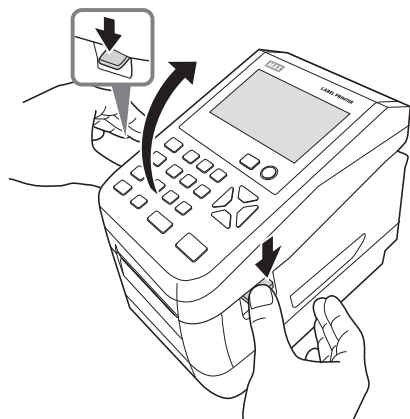
はい

いいえ

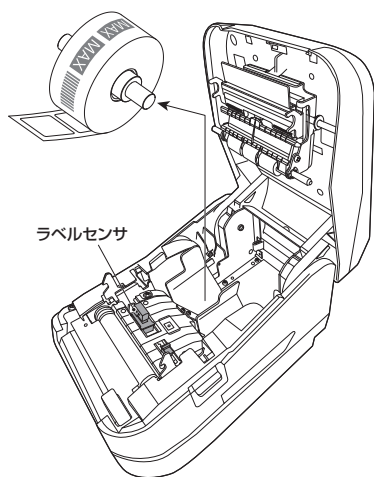
3. お手入れ方法

3.1 お手入れについて

- 1 本機の(電源)キーをOFFにします。
- 2 本体左右のドアカバーオープンレバーを同時に押し下げます。



- 3 ラベルセンサを開き、ラベル紙を取りはずします。

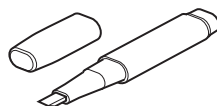


お願い

- 掃除する前に、ラベル紙を取りはずしてください。

プリンタヘッドのお手入れ

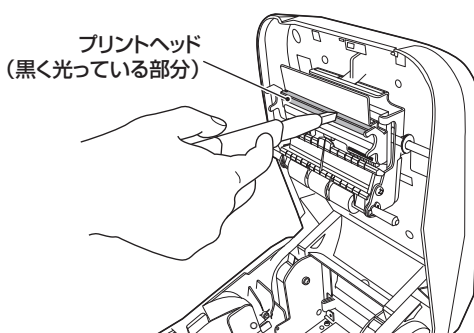
印字がかすれてきたときなどは、付属のヘッドクリーナで、プリンタヘッドを清掃してください。



お願い

- 付属のヘッドクリーナ以外は使わないでください。

プリンタヘッドの図の位置をヘッドクリーナで清掃します。

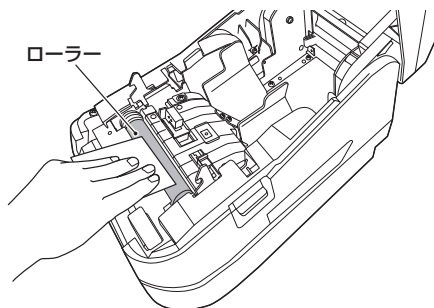


ローラーのお手入れ

しっかり絞った布などでローラーを掃除します。

お願い

- ローラーのお手入れをする場合は、付属のヘッドクリーナは使わないでください。



4. こんなとき

エラー表示と対処方法

LCD 画面に次のエラーメッセージが表示されたときは、下表に従って対処してください。

番号	エラーメッセージ	原因	対処方法
[100]	最大入力文字数は1024文字です。	文字入力で1024文字を超えて入力されました。	テキストボックスの文字数を1024文字以内で入力してください。
[101]	設定文字数を超過しました。	ファイル保存時に入力できる設定文字数を超過して入力されています。	編集後の保存ファイル名は全半角24文字までです。それ以内で入力してください。
[102]	設定文字数に足りません。	バーコードなどの修正入力時に、入力しなければならない文字数が不足しています。	楽らくラベルで設定した通りの文字数で入力してください。
[103]	入力した日付は存在しません。	日付入力でありえない日付や時刻が入力されています。	正しい日付(又は時分)を入力してください。
[104]	現在日以降の日付を入力してください。	現在より前の日付を入力しようとしています。	現在日以降の日付を入力してください。
[106]	最大発行合計枚数は9999枚です。	連番や予約発行で1度に発行する合計枚数が9999枚を超えています。	合計枚数が9999枚以下になるように連番カウントか発行枚数、または予約ファイル数を減らしてください。
[107]	アンダーラインの設定が不正です。	アンダーラインの編集マークが正しく入力されていません。	アンダーラインを引く文字をはさんで対になるよう、編集マークを入力してください。
[108]	上付き／下付きの設定が不正です。	上付き(下付き)の編集マークが正しく入力されていません。	上付き(下付き)にする文字をはさんで対になるよう、編集マークを入力してください。
[109]	上付き／下付きは数字のみ可能です。	上付き(下付き)の編集マークではさんだ文字に数字以外が含まれています。	上付き(下付き)にする文字は、数字のみとして、対になるよう、編集マークを入力してください。
[110]	現在の設定では使用できない文字が入力されています	書体がPRICE、POP_AまたはBに設定されている項目に上付き、下付き文字が設定されています。	楽らくラベルで書体を変更するか、文字を削除してください。
[114]	連番開始は0に出来ません。	連番の開始番号を0に設定されています。	0以外の数値を開始番号にしてください。
[115]	入力できない数値が入力されました。	発行枚数に0を入力したなど、入力してはいけない文字や数値が入力されています。	発行枚数は、1～9999の間の数値を入力してください。
[117]	編集できる項目がありません。	編集に指定したラベルデータに、編集対象とする設定のオブジェクトがありません。	本機でラベルデータを編集する場合は、楽らくラベルでデータを作成する際、編集したいオブジェクトのプロパティで、[本体で編集する]にチェックを入れてください。
[118]	変更禁止に設定されています。	設定モードで「発行時の変更許可」が「しない」に設定されています。	設定モードシステムで「発行時の変更許可」を「する」に設定してください。
[119]	入力されたJISコードがありません。	入力したJISコードに該当する文字データがありません。	正しいJISコードを入力してください。
[121]	指定のファイルがありません。	指定した番号のファイルがないのに、発行や編集を行おうとしています。	名前が表示されるファイルを選択してください。

番号	エラーメッセージ	原因	対処方法
[122]	該当するファイルがありません。	選択した分類(フォルダ)に有効なファイルがありません。	楽らくラベルで作成したファイルを「外部メモリへの書出し」で分類名を指定してファイルを作成してください。
[123]	該当する本体リストがありません。	本体リストに該当するデータがありません。	リストに存在するデータを入力してください。
		本体リストがありません。	楽らくラベルで本体リストを作成し、本機に転送してください。
[124]	外部メモリがありません。	外部メモリが正しくセットされていません。	本体の電源を切り、外部メモリを奥までしっかり差し込んでください。
[125]	外部メモリが抜かれました。	USBメモリマークが点灯している時に、外部メモリが抜かれました。	外部メモリを抜くときはシフト + 削除/クリアを押して、USBのマークが消えてから抜いてください。
[126]	外部メモリにアクセスできません。	外部メモリ内のデータが壊れている可能性があります。	楽らくラベルでデータを作成しなおしてください。
[127]	有効な外部メモリではありません。	外部メモリの中のファイルが壊れています。	楽らくラベルでファイルを作成しなおしてください。
		外部メモリのデータが壊れています。	パソコンで外部メモリをFATでフォーマットしてから、データを書き出しなおしてください。
		外部メモリのフォーマット形式が異なります。	パソコンで外部メモリをFATでフォーマットしてから、データを書き出しなおしてください。本機で読み取ることのできるファイルシステムはFAT12/16/32のみです。
[128]	該当するデータがありません。	データがない、またはデータの形式が異なります。	指定されたデータがありません。データが保存されていること、データの内容が正しいことを確認してください。
[129]	外部メモリの空き容量が不足しています。	発行や、発行記録に使用するための容量が足りません。	不要なファイルを削除してください。
[131]	パスワードが正しくありません。	設定で入力したパスワードと異なります。	設定モードで入力したパスワードを入力してください。
[138]	文字が入力されていません。	入力が必要な項目で何も入力されていない状態で確定されました。	文字を入力してください。
[139]	入力できない文字が入力されました。	対応外の文字が入力されています。	入力されている文字から対応外の文字を削除してください。
[140]	発行者リストファイルがありません。	発行者管理機能を有効にしている、発行者リストファイルがメモリ内の所定の箇所にありません。	発行者管理機能をOFFにするか、楽らくラベルPro版にて発行者リストファイルを作成しメモリ内に転送してください。
[141]	該当する発行者リストがファイルにありません。	発行者リストファイルの中に該当する発行者番号がありません。	入力した番号と発行者リストファイルに登録されている発行者番号を確認してください。
[150]	印字データの作成に失敗しました。	印字データの内容に誤りがあります。	レイアウトデータ・本体リストを見直してください。
[156]	設定できる加算日時範囲を超えています。	加算日範囲を超えた日付が入力されています。	加算日時を設定した範囲内にしてください。
[157]	加算日付範囲設定に誤りがあります。	入力された日付範囲に誤りがあります。	範囲設定値を入力し直してください。右の値は左の値以上の値を入力してください。
[158]	保存できるファイル数は8個までです。	既にファイル最大保存数が保存されています。	ファイルを削除してから、再度実行してください。

番号	エラーメッセージ	原因	対処方法
[159]	入力できるオブジェクト数を超過しています。	一覧リスト入力を含むオブジェクト数が最大数を超過しています。	オブジェクトを減らして、再度保存してください。
[172]	発行記録がありません。	保存されている発行記録はありません。	発行後に再度実行してください。
[174]	選択された品目の期限が切れています。	期限切れの品目が選択されました。	品目を選択し直してください。
[175]	この品目には期限が設定されていません。	廃棄時に期限が設定されていない品目が選択されました。	期限ラベル発行した品目を選択してください。
[176]	親品目が廃棄済みです。	・親品目が廃棄済の品目の期限ラベルを発行しようとした。 ・親品目選択時に、廃棄済の品目が選択されています。	親品目の期限ラベルを発行してから子品目を発行してください。
[177]	指定した時間が範囲外です。	期限ラベル発行時の時間指定で、範囲外の時間を指定した。	1～48時間の範囲で入力してください。
[178]	セットされているサイズのラベルには印刷できません。	発行記録印刷、期限切れ一覧印刷で、用紙認識しているラベルが小さいです。	現在より大きいサイズのラベルをセットして、用紙認識をして、再度実行してください。
[179]	ファイルが選択されていません。	ファイル選択時に、番号検索・カナ検索で未ヒット状態で、確定が押されました。	ファイルを選択して、再度実行してください。
[181]	タッチパネルの検出位置調整に失敗しました。	調整において、誤った位置がタッチされた可能性があります。	再度タッチパネルの検出位置調整を実施してください。
[182]	PBボタンの登録は最大8個までです。	既にPBボタンの最大個数が登録されています。	登録を削除してから再度実行してください。
[183]	ユーザ登録認証コードに誤りがあります。	入力した認証コードに誤りがあります。	コードを確認し、再度入力してください。
[184]	入力した日付は設定できません。	時計合わせ、仮想カレンダー入力で2019年5月1日以前の日付が設定されています。	2019年5月1日以降の日付を設定してください。
[190]	文字の印字欠けが発生しています。	印字欠けチェックに該当する文字があります。	レイアウトデータを見直してください。
[191]	時計が印字範囲からはみ出しています。	印字範囲から時計がはみ出しています。	レイアウトデータを見直してください。
[196]	連番開始番号には入力できない文字の組み合わせです。	連番の開始番号に、入力できない組合せの文字が入力されています。	全角・半角が混在している、英字・数字が混在している、または、英字が2文字以上入力されている可能性があります。
[199]	用紙を正しく設定できません。	用紙認識が正常にできませんでした。	弊社専用ラベルをセットして再度実行してください。また、専用ラベルであってもまれに用紙認識に失敗することがあります。再度実行してください。
[201]	ラベルサイズが異なります	発行しようとしたラベルのサイズが、本体にセットされているラベルサイズと異なります。	適切なラベルサイズをセットし、用紙認識をしてください。
[300]	ラベルがセットされていません。	用紙認識開始時、または発行開始時に、ラベル紙がセットされていませんでした。	発行するラベルサイズのラベル紙を本体にセットしてください。
[301]	用紙がなくなりました。	用紙認識開始時、発行開始時に、ラベル紙が用紙切れとなりました。	新しいラベルを本体にセットして下さい。
[302]	ドアカバーが開いています。	用紙認識開始時、または発行開始時に、ドアカバーが閉じていません。	ドアカバーを閉じてください。

番号	エラーメッセージ	原因	対処方法
[303]	ラベル間を検出できませんでした。	ラベルセンサが正しくセットされていない可能性があります。	用紙を正しくセットしてください。
		ラベル発行時に、一定距離シート搬送してもラベル間(タイミングマーク含む)を検出できませんでした。	何度か用紙認識動作を繰り返し、うまくいかない場合はラベル紙を新しいものに交換してください。
[304]	用紙を送ることが出来ませんでした。	発行時に、1回以上ラベル間を検出したあと一定距離シート搬送してもラベル間(タイミングマーク含む)が検出できませんでした。	ドアカバーを開け、先頭の枚数を引き出した後、再度お試しください。うまくいかない場合は、新しいラベル紙に交換してください。
[306]	ヘッドが熱くなっています。しばらく、お待ち下さい。	発行時に、ヘッド温度が高温になっていました。	そのままお待ちください。ヘッド温度が適切な温度まで下がると発行を自動再開します。
[307]	電源が熱くなっています。しばらく、お待ち下さい。	発行時に、電源部が高温になっていました。	そのままお待ちください。電源部の温度が適切な温度まで下がると発行を自動再開します。
[309]	ラベルがラベルセンサの奥になっているか確認してください	ラベルが、ラベルセンサの下にあります。	はじめのラベル位置をラベルセンサの奥側(ロール側)にしてください。
[394]	セットされているラベルが印刷長より短い可能性があります。	印刷した時に、印刷しようとしている用紙長に対して、実際のラベルが5mm以上短い。	セットされているラベルを確認してください。
[401]	本体がパソコンから受信したデータの異常です。	パソコンから発行時に、受信したデータに異常がありました。	パソコンを再起動して、再度ラベル発行してください。または、本機とパソコンの接続を確認してください。
[402]	パソコンからデータ受信中に、データが途絶えました。	パソコンから発行実行時に、所定時間経過してもデータの受信が完了しませんでした。	パソコンを再起動して、再度ラベル発行してください。うまくいかない場合はパソコンの設定を変更する必要があるかもしれません。
[404]	ヘッドが所定の温度より低温または高温になっています。	電源ON時や発行時に、ヘッド温度が使用範囲外となっています。	低温環境下でお使いの場合は、機械が温まってから再度電源をONにしてください。暑いところでお使いの場合は、涼しいところに機械をしばらく放置してから再度電源をONにしてください。うまくいかない場合は修理が必要かもしれません。
[407]	ファイルの受信に失敗しました。	PCからのファイル受信でエラーが発生しました。	再度ファイル受信をおこなってください。うまくいかない場合は通信状況を確認してください。
[408]	ファイルの送信に失敗しました。	PCへのファイル送信でエラーが発生しました。	再度ファイル送信をおこなってください。うまくいかない場合は通信状況を確認してください。
[409]	保存できる容量を越えました。	本体保存容量がいっぱいです。	ファイルを削除し、空き容量を確保してください。
[410]	保存先フォルダの作成に失敗しました。	ケーブルが接続されていない可能性があります。	ケーブルの接続などの通信環境を確認してください。
[412]	FTPサーバとの接続に失敗しました。	FTPサーバとの接続に失敗しました。	サーバ設定、ネットワーク環境設定や本体LAN通信設定を確認してください。
[413]	サーバへのログインに失敗しました。	サーバへのログインに失敗しました。	ネットワーク設定の確認をおこなってください。
[414]	ダウンロードに失敗しました。	何らかの原因でダウンロード中にエラーが発生しました。	再度、ダウンロードをおこなってください。
[415]	指定の端末ファルダがありません。	本体とサーバの端末番号の設定が合っていません。	各々の端末番号の設定を確認してください。
[416]	フォルダの切り替えに失敗しました。	フォルダの切替に失敗しました。	通信状況を確認し、再度実行してください。

番号	エラーメッセージ	原因	対処方法
[419]	アップロードに失敗しました。	アップロードに失敗しました。	再度アップロードをおこなってください。うまくいかない場合は通信状況を確認してください。
[427]	発行記録のアップロードに失敗しました。	発行記録のアップロードに失敗しました。	再度アップロードをおこなってください。うまくいかない場合は通信状況を確認してください。
[430]	ALL、PARTフォルダの切替に失敗しました。	フォルダの切替に失敗しました。	通信状況やサーバーにALLフォルダ、PARTフォルダがあることを確認し、再度実行してください。
[434]	MLFファイル情報取得に失敗しました。	MLF情報の取得に失敗しました。	通信状況を確認し、再度実行してください。
[500]	印刷範囲でヘッドの素子が壊れています。印字抜けの恐れあり。	発行時に、印刷範囲のヘッド素子が破損していました。	ヘッドユニットの交換をしてください。(修理) そのまま印字する場合(印字抜けが発生します)は、設定モードシステム→ヘッド自己診断、をしないに設定し、再度発行してください。
[501]	プリンタヘッドの素子が壊れています。印字抜けの恐れあり。	電源ON時に、ヘッド素子の破損を検出しました。	ヘッドユニットの交換をしてください。(修理)
[502]	プリンタヘッドが壊れています。	電源ON時または発行時に、ヘッドICの異常を検出しました。	ヘッドユニットの交換をしてください。(修理)

故障かなと思う前に

現 象	確認してください	対応のしかた
電源が入らない	電源コードがしっかり差し込まれていますか。	電源コードをコンセント、あるいは本体にしっかり挿入し、再度電源ボタンをONにしてください。
発行しない (パソコンから発行する場合)	専用ラベル紙をお使いですか。	専用ラベル紙をセットしてください。 本機は専用ラベル紙のみお使いいただけます。お手持ちの市販ラベルはお使いいただけません。
	USBケーブルが正しく接続されていますか。	USBの接続を確認してください。
	パソコンのプリンタ設定が正しく設定されていますか。	出力プリンタの設定を「MAX LP-〇〇 (ご使用になる機種)」に設定してください。
きれいに印字されない	印字がかすれたり、尾を引いたりギザギザが出ていませんか。	パソコンからの出力の場合、プリンタドライバの設定 (楽らくラベル: ファイル - 発行 - プロパティ) で印字濃度調整を行ってください。 本体のみの出力の場合、設定 - 基本 - 印字濃度で印字濃度調整を行ってください。
	ラベル表面にホコリ・ゴミ等が付着していませんか。	本体内部にゴミ・ホコリ等がある場合は除去してからラベルをセットしてください。
	ラベルが黄変していませんか。	直射日光の当たる所や高温になるところに保管すると、ラベルが感光し、正常な印字が出来なくなります。 ※ラベルは冷暗所に保管してください。
	ヘッドまたはプラテンローラが汚れていませんか。	プリンタヘッドは、付属のヘッドクリーナでクリーニングしてください。プラテンローラは、乾いた布でクリーニングしてください。
印字がきれ	正しくラベル紙がセットされていますか。	再度、ラベル紙をセットしなおしてください。
	印字位置がずれていませんか。	設定 - 位置で印字位置調整を行ってください。
印字されずにシートを送る	ラベルガイドの位置がずれていませんか。	ラベルガイドを正しい位置にあわせてください。
ラベル紙を送らない	ドアカバーがきちんとロックされていますか。	ドアカバーがパチンというまで、しっかりと閉じてください。 電源を再度入れ直してください。
ラベル紙が詰まる	ドアカバーがきちんとロックされていますか。	①電源をOFFにし、詰まったラベル紙を取り除きます。 ②よれたラベル紙は切り落とし、再度ラベル紙をセットします。 ③ドアカバーがパチンというまで、しっかりと閉じて、電源をONにします。
	ラベルがきちんとセットされていますか。	①電源をOFFにし、詰まったラベル紙を取り除きます。 ②よれたラベル紙は切り落とし、再度ラベル紙をセットします。 ③電源を再度入れ直してください。
USBメモリにデータが書き出せない	外部メモリの位置は設定しましたか。	「楽らくラベルStandard」を起動し、「設定」 - 外部メモリの設定をしてください。
バーコードスキャナが使えない	電源ON時にバーコードスキャナを挿しましたか。	電源をOFFにして、再度電源を入れなおしてください。

よくあるお問い合わせ

ご質問内容	ご質問に対する回答
本体で加算日付の日数を変更したい。	設定してある加算日を本体で変更し、発行(保存)できます。
本体で日付の表示を変更したい。 (例)「別途表面に記載」等に変更したい。	発行時に日付語句を呼び出して印字できます。
本体でデータを変更して新しいラベルデータを作りたい。	本体のラベルデータを修正し発行(保存)することができます。
パソコンからプリンタ本体にデータを書き込みたい。	ラベルデータをUSBケーブル、またはUSBメモリを介して本体メモリに書き出すことができます。
パソコンからプリンタ本体に書き込みできない。	「データ転送」－「取込」－「PCから」で「受信準備 が完了しました」画面を表示してください。
パソコンから市販のUSBメモリに本体発行用のデータを保存したい。	PCに接続されたUSBメモリに書き出しできます。
市販のUSBメモリにデータを書き出しできない。	外部メモリのドライブ位置の設定を確認してください。
楽らくラベルソフトの操作方法がわからない。	パソコンで操作マニュアルをご覧ください。
プリンタドライバをインストール中に画面がすぐ変わらない。	ソフトウェアのトラブルをご覧ください。
最新のソフトを入手したい。	お客様登録を行っていただくことで、最新ソフトがダウンロードできます。
メモリに保存したデータをプリンタ本体で削除したい。	「メニュー」－「レイアウト」より削除できます。
外部メモリへの書き出しの際に「出力ができない領域にオブジェクトがあります」メッセージがでる。	ラベル用紙の印刷範囲外にオブジェクト(データ)がある場合、このメッセージを表示します。 印刷範囲内にデータを設定してください。
外部メモリへの書き出し(本体へ書き出す)が選択できない。	本体のみでラベル発行する「スタンドアロンモード」で有効な機能です。 「楽らくラベルPro」では「スタンドアロンモード」で起動して下さい。 ※市販のUSBメモリを使用する際は、セキュリティ機能のないものをご使用ください。

本機で使えるラベル紙について

■ 標準でご用意しているラベル(上質感熱紙)

商品名	サイズ(mm)	枚数/巻	入数
LP-S4028	幅40×ピッチ28	1,350枚	6巻
LP-S4046	幅40×ピッチ46	840枚	6巻
LP-S4062	幅40×ピッチ62	640枚	6巻
LP-S5250	幅52×ピッチ50	770枚	6巻
LP-S6060	幅60×ピッチ60	645枚	6巻
LP-S7070	幅70×ピッチ70	560枚	6巻

商品名	サイズ(mm)	枚数/巻	入数
LP-S3221SP	幅32×ピッチ21	1740枚	2巻
LP-S3242SP	幅32×ピッチ42	910枚	2巻
LP-S4028SP	幅40×ピッチ28	1350枚	2巻
LP-S4046SP	幅40×ピッチ46	840枚	2巻

商品名	サイズ(mm)	枚数/巻	入数
LP-S4028VP	幅40×ピッチ28	1,350枚	50巻
LP-S4046VP	幅40×ピッチ46	840枚	50巻
LP-S4062VP	幅40×ピッチ62	640枚	50巻
LP-S4080VP	幅40×ピッチ80	490枚	50巻
LP-S5250VP	幅52×ピッチ50	770枚	50巻
LP-S5270VP	幅52×ピッチ70	560枚	50巻
LP-S5276VP	幅52×ピッチ76	520枚	50巻
LP-S5290VP	幅52×ピッチ90	440枚	50巻
LP-S52120VP	幅52×ピッチ120	327枚	50巻
LP-S6060VP	幅60×ピッチ60	645枚	40巻
LP-S7070VP	幅70×ピッチ70	560枚	40巻
LP-S70120VP	幅70×ピッチ120	327枚	40巻
LP-S70180VP	幅70×ピッチ180	219枚	40巻

■ そのほかにご用意しているラベル

用紙種 : ユポサーマル、光沢感熱紙、光沢感熱紙(電子レンジ対応)、高耐光感熱紙

サイズ : 最小 W25×P15mm～最大 W70×P180mm

専用ラベル紙となります。詳しくは最寄の弊社営業所までお問い合わせください。

ネットワークプリンタとしてパソコンにインストールする

本機はネットワークプリンタとしてご使用いただけます。複数のパソコンで使いたい場合などにご活用ください。

LAN接続時の制約事項

ネットワーク(社内LANなど)に接続してお使いのパソコンにインストールする場合はネットワーク管理者にご相談ください。

■ネットワーク管理者の方へのお願い事項

本機はIPアドレスなどの工場出荷時の値は、以下のようになっています。

設定項目	工場出荷時
IPアドレス	192.168.11.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1

※以下のIPアドレスは設定できません。

- ① 0.0.0.0(全て0)
- ② 255.255.255.255(全て225)
- ③ 127.xxx.xxx.xxx(ループバックアドレス群)
- ④ xxx.xxx.xxx.255(サブネットブロードキャスト)

※通常はデフォルトゲートウェイを設定する必要はありません、

- 本機の設定の変更のしかたは62ページを参照してください。

メモ

- USB接続でローカルプリンタとしてインストールしたプリンタドライバとは、インストーラを使って共存させたインストールをすることができません。いずれか一方の接続方法でインストールしてください。
- LAN接続ではクロスケーブルをお使いになると、パソコンと本機を直接接続することができます。
- インストールおよび使用には、「管理者」または「Administrators」グループのメンバーでログインが必要です。
- インストール後に再起動します。複数ユーザーでログインしている場合は、管理者のみとし、他ユーザーはログオフしてからインストールしてください。

■OS共通注意事項

- ご使用になる機種 of プリンタドライバのみをインストールしてください。

必ず、添付のCD-ROMまたはダウンロードした最新版のドライバで起動するインストーラをお使いになりインストール、またはアンインストールしてください。

お願い

- インストールは、必ず本書に記載の手順通りに行ってください。
(必ず添付のCD-ROMまたはダウンロードした最新版のドライバから起動するインストーラをお使いください)
- 旧バージョンからアップデートする場合は、一度本書に従ってアンインストールしてから、再度インストールしなおしてください。
※この時お客様が作成したデータは削除されません。
- 本書とは異なる方法でインストールまたはアンインストールすると全く動作せず、修復に大変手間がかかる場合があります。

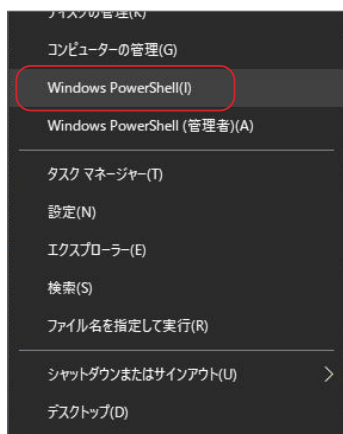
メモ

- 本機及びソフトウェアに関する最新情報が、添付のCD-ROMまたはダウンロードした最新版のドライバのREADMEファイルに記載されています。必ずご一読ください。

IPアドレスなどの確認(パソコン側)

■はじめにお使いのパソコンのネットワークの設定を確認します

- 1 スタートボタンを右クリックして、「Windows PowerShell」を選択します。



- 2 青い画面が表示されたら「ipconfig」と入力してエンターを押します。



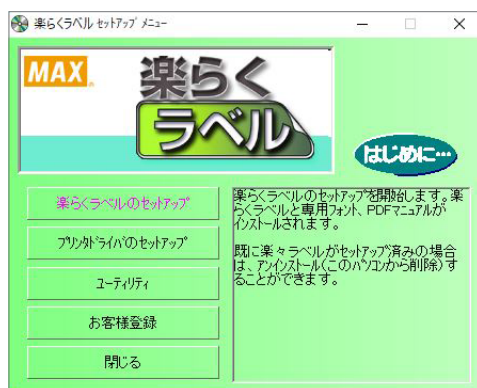
- 3 ネットワークの設定が表示されます。IPv4アドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを確認して、メモしておきます。確認が終わったら、右上の×で閉じてください。

IPアドレス	.	.	.
サブネットマスク	.	.	.
デフォルトゲートウェイ	.	.	.

プリンタドライバのインストール

- 1 添付のCD-ROMまたはダウンロードした最新版のドライバをパソコンにセットします。

- 2 「楽らくラベル」のセットアップメニューが表示されます。「プリンタドライバのセットアップ」をクリックします。

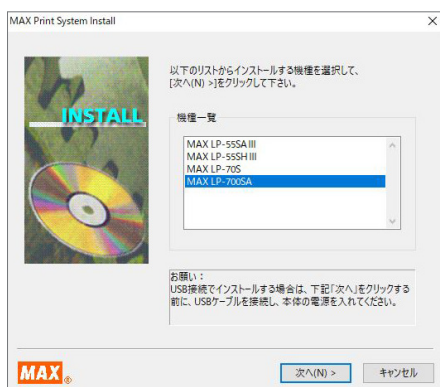


- 3 「ドライバのインストール」をクリックします。

※Windowsセキュリティの画面が表示されたら、「インストールをします」をクリックします。



4 ご使用になりたい機種を選択して、次へをクリックします。



5 「LANケーブル」を選択して、「次へ」をクリックします。



6 「インストール」をクリックします。



メモ

- 注意を促すメッセージが表示される場合には、「続行」をクリックします。
本機は、弊社の厳しい品質管理基準の元に開発されています。それぞれのOSにおける動作検証も行っていますので、安心してインストールを続けてください。
※このメッセージ画面は、マイクロソフト社の認証を受けていないデバイスドライバ(ソフト)をインストールするときに必ず表示されるもので、何らかの不具合を示すものではありません。



7 「ポート名」「IPアドレス」を入力し、「OK」を押します。





- ご使用になる環境に応じて、IPアドレスは自由に設定できます。
- この手順で設定するIPアドレスは「IPアドレスなどの確認(パソコン側)」で確認したIPアドレスの上位9桁(3桁区分3個目まで)、およびサブネットマスクをあわせる必要があります。上記の例ではIPアドレスは「192.168.11」までは同じ番号にします。最後の3桁は他の接続機器と競合しない空き番号を割り当てます。詳細はネットワーク管理者にお問合わせください。

8 「はい、直ちに再起動します」を選んで「完了」をクリックします。

※パソコンを再起動するまでプリンタは正しく動作しません。必ず再起動してください。



MAX